

(様式第 10)

29 新大医歯病第 192 号  
平成 29 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 (管理者) 鈴木 榮一 (印)

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法 (昭和 23 年法律第 205 号) 第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則 (昭和 23 年厚生省令第 50 号) 第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏 名	国立大学法人 新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

新潟大学医歯学総合病院
-------------

3 所在の場所

〒951-8520 新潟市中央区旭町通 1 番町754番地	電話( 025 ) 223 - 6161
-------------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無		
外科と組み合わせた診療科名			
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科	8小児外科
診療実績			

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無		
歯科と組み合わせた診療科名			
1小児歯科	2矯正歯科	3口腔外科	
歯科の診療体制			

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科	2 病理診断科
--------------	---------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64床	床	床	床	床	床

## 6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	513人	82人	836.9人	看 護 補 助 者	20人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	180人	69人	256.7人	理 学 療 法 士	12人	臨 床 検 査 技 師	65人
薬 剤 師	64人	0人	64人	作 業 療 法 士	5人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	33人	0人	33人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	811人	13人	820.1人	臨 床 工 学 士	20人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	9人
准 看 護 師	0人	1人	0.6人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	7人
歯 科 衛 生 士	22人	7人	27.4人	歯 科 技 工 士	6人	事 務 職 員	156人
管 理 栄 養 士	7人	0人	7人	診 療 放 射 線 技 師	39人	そ の 他 の 職 員	78人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	57人	眼科専門医	15人
外科専門医	24人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	15人
小児科専門医	28人	脳神経外科専門医	17人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	25人
泌尿器科専門医	13人	麻酔科専門医	20人
産婦人科専門医	28人	救急科専門医	6人
		合 計	274人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名(鈴木榮一) 任命年月日 平成25年4月1日

- ①平成25年4月1日から、医療安全推進委員会及び医療事例審議委員会(医療法施行規則に規定された医療安全管理委員会に該当)の委員長である。  
 ②平成29年4月1日から、新規医療技術等管理センター(医療法施行規則に規定された高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の担当部門に該当)のセンター長である。同センターでは併せて、適応外・禁忌による医療の適否等も決定をする。  
 ③平成25年4月1日から、臨床倫理検討委員会(診療にかかる倫理的な課題を検討する)の委員長である。また、同委員会では平成25年1月から平成28年3月まで、暫定的に高難度医療、未承認医薬品等による医療、適応外及び禁忌による医療の実施について審議を行った。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	701.3人	23.2人	724.5人
1日当たり平均外来患者数	1,676.9人	605.1人	2,282.0人
1日当たり平均調剤数			2,743剤
必要医師数			172人
必要歯科医師数			34人
必要薬剤師数			35人
必要(准)看護師数			440人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	618m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	27床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	48m <sup>2</sup>		病床数	3床
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	116m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	403m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	臨床検査情報システム、搬送ライン一式、臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖・HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、蛋白泳動装置、多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、尿中有形成分分析装置、赤血球沈降速度測定装置、顕微鏡、試薬庫、純水製造装置、遠心機、検体保管庫、			
細菌検査室	161m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	微生物分類同定分析装置、同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、顕微鏡、試薬庫、遠心機、			
病理検査室	269m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR装置			
病理解剖室	221m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー			
研究室	755m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	パソコン等			
講義室	514m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	9室	収容定員	303人
図書室	101m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	3室	蔵書数	3,800冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	78.9%	逆紹介率	59.3%
算出根拠	A：紹介患者の数		15,656人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,240人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,953人
	D：初診の患者の数		22,325人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
240

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
上村朝輝	元済生会新潟第二病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
月岡 恵	元新潟市保健所長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
三部正歳	りゅーと法律 税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
田代文俊	新潟大学（監事）		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・無	2
牛木辰男	新潟大学（医歯学系長）		その他学識経験を有する者	有・無	1
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表。	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
骨髄細胞移植による血管新生療法	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	4人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	1人
LDLアフェレシス療法	2人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法	0人
急性心筋梗塞に対するエポエチンベータ投与療法	0人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法	1人
放射線照射前に大量メトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法	0人
ベペルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法	0人
オクトレオチド皮下注射療法	0人
切除支援のための気管支鏡下肺マーキング法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	105
2	筋萎縮性側索硬化症	27	57	特発性拡張型心筋症	86
3	脊髄性筋萎縮症	7	58	肥大型心筋症	23
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	16	60	再生不良性貧血	37
6	パーキンソン病	101	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	4	63	特発性血小板減少性紫斑病	58
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	65	原発性免疫不全症候群	9
11	重症筋無力症	163	66	IgA腎症	28
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	27
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	124	68	黄色靱帯骨化症	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	18	69	後縦靱帯骨化症	90
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	13
16	クドウ・深瀬症候群	3	71	特発性大腿骨頭壊死症	98
17	多系統萎縮症	22	72	下垂体性ADH分泌異常症	5
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	59	73	下垂体性TSH分泌亢進症	3
19	ライソゾーム病	9	74	下垂体性PRL分泌亢進症	12
20	副腎白質ジストロフィー	6	75	クッシング病	11
21	ミトコンドリア病	10	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	3
22	もやもや病	90	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	47
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	98
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	10
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	9	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	203
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	15
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	28
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	17
34	神経線維腫症	52	89	リンパ脈管筋腫症	8
35	天疱瘡	45	90	網膜色素変性症	26
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	4
37	膿疱性乾癬(汎発型)	19	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	69
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	1
40	高安動脈炎	38	95	自己免疫性肝炎	7
41	巨細胞性動脈炎	1	96	クローン病	131
42	結節性多発動脈炎	14	97	潰瘍性大腸炎	358
43	顕微鏡的多発血管炎	38	98	好酸球性消化管疾患	5
44	多発血管炎性肉芽腫症	32	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	5
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	11	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	10	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	11	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	385	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	125	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	140	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	55	107	全身型若年性特発性関節炎	4
53	シェーグレン症候群	18	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	7	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	4
113	筋ジストロフィー	7	163	特発性後天性全身性無汗症	5
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	3	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	1
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	1
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	1	263	脳腫黄色腫症	1
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	2
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	4	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクトネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	14	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	10
224	紫斑病性腎炎	6	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	7	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	2	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	3	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	4
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	6
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウルジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	11

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	$\beta$ ーケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・精神疾患診療体制加算
・歯科外来診療環境体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・歯科診療特別対応連携加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・特定機能病院入院基本料	・救命救急入院料
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・医師事務作業補助体制加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・小児入院医療管理料2
・看護職員夜間配置加算	・
・看護補助加算	・
・療養環境加算	・
・重傷者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・病棟薬剤業務実施加算	・
・データ提出加算	・
・退院支援加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・胎児心エコー法
・高度難聴指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・糖尿病合併症管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料	・神経学的検査
・外来緩和ケア管理料	・補聴器適合検査
・移植後患者指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・糖尿病透析予防指導管理料	・コンタクトレンズ検査料
・外来放射線照射診療料	・内服・点滴誘発試験
・ニコチン依存症管理料	・センチネルリンパ節生検(片側)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・有床義歯咀嚼機能検査
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・画像診断管理加算2
・薬剤管理指導料	・歯科画像診断管理加算
・医療機器安全管理料1	・ポジトロン断層撮影, ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影, ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影
・医療機器安全管理料2	・CT撮影及びMRI撮影
・歯科治療総合医療管理料	・冠動脈CT撮影加算
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・外傷全身CT加算
・持続血糖測定器加算	・心臓MRI撮影加算
・遺伝学的検査	・乳房MRI撮影加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・外来化学療法加算1
・国際標準検査管理加算	・無菌製剤処理料
・遺伝カウンセリング加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・がん患者リハビリテーション料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・リンパ浮腫複合的治療料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・集団コミュニケーション療法料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・内視鏡下筋層切開術
・通院・在宅精神療法	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・認知療法・認知行動療法	・経皮的中隔心筋焼灼術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療保護入院等診療料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・透析液水質確保加算	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・手術用顕微鏡加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・CAD/CAM冠	・補助人工心臓
・歯科技工加算	・腹腔鏡下肝切除術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・生体部分肝移植術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・同種死体肝移植術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・同種死体腓移植術、同種死体腓腎移植術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体腎移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・生体腎移植術
・網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・膀胱水圧拡張術
・網膜再建術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・歯科矯正診断料
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・輸血管理料 I	・
・輸血適正使用加算	・
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・歯根端切除手術の注3	・
・麻酔管理料(I)	・
・麻酔管理料(II)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・病理診断管理加算	
・口腔病理診断管理加算	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下子宮体がん根治術	・
・実物大臓器立体モデルによる手術支援	・
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	解剖例 CPC 11回/年 生検例 15回/年
剖 検 の 状 況	剖検症例数 25例 / 剖検率 6.74%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳動脈瘤塞栓術におけるHydrogel coilの塞栓効果に関する多施設共同無作為化比較試験(HYBRID study)	伊藤 靖	脳神経外科	427,500	補 公益財団法人先端医療振興財団
EGFR遺伝子変異陽性非扁平上皮癌に対するAfatinib/Carboplatin/Pemetrexed併用療法の第I相臨床試験(NEJ025A)	渡部 聡	呼吸器・感染症内科	180,000	補 特定非営利活動法人North East Japan Study Group
高齢者(75歳以上)進行再発非扁平上皮非小細胞肺癌に対するドセタキセル+ペバシズマブ療法とペムトレキセド+ペバシズマブ療法の無作為化第II相試験(TORG1323)	渡部 聡	呼吸器・感染症内科	100,000	補 特定非営利活動法人胸部腫瘍臨床研究機構
RAS遺伝子(KRAS/NRAS遺伝子)野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFFOX6+ペバシズマブ併用療法とmFOLFFOX6+ヘニンズマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第III相無作為化比較試験における治療感受性、予後予測因子の探索的研究	若井 俊文	消化器外科	140,400	補 株式会社リニカル
地域保健における歯科疾患の予防	宮崎 秀夫	予防歯科	808,000	補 弥彦村
①基礎研究:視覚・聴覚連想における研究②臨床研究:末梢性平衡障害における詳細な障害部位の解析	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,000,000	補 新潟県
メチル水銀に対する治療標的分子としての血管内皮成長因子(VEGF)の検討(V)	下畑 享良	神経内科	3,000,000	補 新潟県
水俣病、緑内障のビッグデータ解析に向けた、施設内データベース構築	福地 健郎	眼科	3,000,000	補 新潟県
新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究	齋藤 昭彦	小児科	2,000,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
自己免疫性肺胞蛋白症に対する酵母由来組換えGM-CSF吸入の多施設共同医師主導試験	中田 光	生命科学医療センター	208,100,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
大規模検診データベースの縦断解析エビデンスに基づく基準範囲設定と重大イベント発症確率精密予測のフィードバックによる検診要精検者の医療機関受診率向上戦略	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	12,150,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の開発	寺井 崇二	消化器内科	5,000,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
メガリンを標的とした腎機能温存・再生療法の開発	斎藤 亮彦	腎・膠原病内科	29,880,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
リンパ脈管筋腫症に対するラパマイシン長期内服の効果と安全性評価のためのコホート調査	高田 俊範	魚沼地域医療教育センター	9,880,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
重症薬疹における特異的細胞死誘導受容体をターゲットにした新規治療薬開発	阿部 理一郎	皮膚科	27,300,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
HPVワクチンの有効性を安全性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	46,700,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	田邊 嘉也	感染管理部	900,000	補 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	田邊 嘉也	感染管理部	19,040,000	補 新潟県
エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	高木 律男	顎顔面口腔外科	2,400,000	補 新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	田邊 嘉也	感染管理部	200,000	補 新潟県
神経難病患者に対する医療ネットワーク体制と療養支援体制の構築に関する研究	小野寺 理	神経内科	5,913,000	補 新潟県

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	榎本 隆之	産科婦人科	972,000	補 ⑤	新潟県
人口股関節全置換術におけるBIOCERAM AZULヘッドの耐摩耗特性を評価する多施設共同研究	宮坂 大	整形外科	4,200,000	補 ⑤	京セラメディカル株式会社
経直腸超音波ガイド下前立腺針生検(TRUS-PNB)後の腸管外病原性大腸菌(ExPEC)感染症の発生率、ExPEC O血清型の分布、ExPECの症例定義、及び健康アウトカムを検討する前向き研究	笠原 隆	泌尿器科	738,880	補 ⑤	パレクセル・インターナショナル株式会社, Janssen
EGFR遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌のEGFR-TKI耐性症例におけるRe-biopsyの実施率、組織診と細胞診のCobas法によるT790M変異検出の一致率を検討するための観察研究	菊地 利明	呼吸器・感染症内科	19,354,421	補 ⑤	アストラゼネカ株式会社
静脈洞血栓症における頭部ルーチンMRI撮影法の診断能の比較検討	稲川 正一	放射線科	1,263,600	補 ⑤	近士写真製版株式会社
ファブリー病診療におけるLyso-Gb3の有効性の検討	丸山 弘樹	腎・膠原病内科	3,492,720	補 ⑤	ジェンサイムジャパン株式会社, サノフィ株式会社
赤芽球及び骨膜細胞の増殖培地の新規開発及び評価	中田 光	生命科学医療センター	10,309,750	補 ⑤	コージンバイオ株式会社
日本人患者の癌遺伝子変異と治療法適合性に関する研究	若井 俊文	消化器外科	4,502,000	補 ⑤	デンカ株式会社
炎症性腸疾患に伴う腸管狭窄に対するヒト脂肪由来間葉系幹細胞の効果に関する研究	寺井 崇二	消化器内科	5,500,000	補 ⑤	株式会社インターステム
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)および経口内視鏡的筋層切開術(POEM)トレーニングモデルの開発	寺井 崇二	消化器内科	1,000,000	補 ⑤	サンアロー株式会社
塩酸ミノサイクリン局所投与がサポータペリオドンタルセラピー(SPT)期歯周炎患者の歯肉縁下細菌叢に及ぼす影響-パイロット試験-	山崎 和久	お口の健康室	1,430,000	補 ⑤	サンスター株式会社
診療活動情報の利用に関する研究	赤澤 宏平	医療情報部	9,020,000	補 ⑤	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
ヒト脂肪組織、臍帯組織由来の間葉系幹細胞のマウス炎症性腸疾患モデルでの効果検証	寺井 崇二	消化器内科	8,800,000	補 ⑤	株式会社バイオミメティクスシンパシーズ
肝疾患に対する細胞療法の有効性及び作用メカニズムに関する基礎的研究	寺井 崇二	消化器内科	5,500,000	補 ⑤	株式会社インターステム
肝硬変・肝細胞癌治療症例における肝繊維化マーカーM2BPGIの経時的変化に関する研究	寺井 崇二	消化器内科	2,200,000	補 ⑤	シスメックス株式会社
虚血耐性骨髄由来幹細胞の肝硬変に対する線維化改善作用に関する基礎研究	寺井 崇二	消化器内科	8,316,000	補 ⑤	日本製薬株式会社
SGLT2 阻害薬の心保護効果メカニズムに関する研究	南野 徹	循環器内科	5,000,000	補 ⑤	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
次世代型の医療情報基盤システムの開発に関する研究	若井 俊文	消化器外科	2,200,000	補 ⑤	新潟県
サルコペニアモデル動物を用いたプロバイオティクス及びプレバイオティクスの評価	寺井 崇二	消化器内科	1,100,000	補 ⑤	ミヤリサン製薬株式会社
末梢神経損傷治療薬の開発と評価	瀬尾 憲司	歯科麻酔科	3,300,000	補 ⑤	デンカ株式会社
"A GSK tool inhibitor of RIPK1 kinase activity will be tested for its ability to prevent keratinocyte cell death in models of Stevens Johnson Syndrome(SJS) and Toxic Epidermal Necrolysis(TEN)"	阿部 理一郎	皮膚科	5,038,650	補 ⑤	GLAXOSMITHKLINE LLC

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
深在性真菌症におけるβ-D-グルカン測定試薬の有用性評価	茂呂 寛	呼吸器・感染症内科	500,000	補 委 和光純薬工業株式会社
内視鏡装着用フードの開発	寺井 崇二	消化器内科	1,000,000	補 委 サンアロー株式会社
咀嚼嚥下状態に応じた米加工食品の開発	井上 誠	口腔リハビリテーション科	20,000,000	補 委 新潟県, ホリカフーズ株式会社, まつや株式会社
慢性腎臓病患者における酸化副甲状腺ホルモンと骨質および腎予後の関連	山本 卓	腎・膠原病内科	1,080,000	補 委 ロシユ・ダイアグノスティックス株式会社
口腔ケア時の吸引圧および吸引器具形状に関する研究	井上 誠	口腔リハビリテーション科	500,000	補 委 株式会社村田製作所
新生児の皮膚に関する臨床研究	齋藤 昭彦	小児科	1,100,000	補 委 テルモ株式会社
日本人患者の癌遺伝子変異と治療法適合性に関する実用化研究-癌遺伝子変異検査におけるリキッド・バイオ	若井 俊文	消化器外科	4,062,000	補 委 デンカ株式会社
咀嚼計測装置の開発に関する研究	小野 高裕	義歯診療科	647,460	補 委 シヤープ株式会社
メガリン機能に着目した腎疾患の診断・予防・治療法の開発	成田 一衛	腎・膠原病内科	27,500,000	補 委 デンカ株式会社
先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患群(総排泄腔遺残、総排泄腔外販、MRKH症候群)におけるスムーズな成人期医療移行のための分類・診断・治療ガイドライン作成	窪田 正幸	小児外科	13,995,000	補 委 厚生労働省
ネクロプトーシスにより発症する重症薬疹の機序解明	阿部 理一郎	皮膚科	2,990,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
血管ニッチによって制御されるステムセルエイジングと加齢関連疾患発症機序の解明	南野 徹	循環器内科	22,750,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
核酸代謝の乱れからみた蛋白質の老化基盤とその排除機構	小野寺 理	神経内科	27,330,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
口腔-腸管連関を基盤としたペリオドンタルメディスン病因論の統合的解明	山崎 和久	お口の健康室	8,710,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
脳小血管の動的機能に注目した脳血管性認知症克服への戦略	小野寺 理	神経内科	16,510,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
歯周炎・糖尿病・リウマチの共通リスクサイトカイン遺伝子の解明	吉江 弘正	歯周病科	8,190,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
次世代シーケンサーによる肺胞蛋白症重症化の分子機構の解明	中田 光	生命科学医療センター	4,290,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
重症薬疹の発症病態解明に対する包括的検討	阿部 理一郎	皮膚科	4,290,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
脳放射線治療の個別最適化に向けた包括的研究	青山 英史	放射線治療科	3,250,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
胆道癌・膵癌の転移能に関与する脂質メディエーター分子制御機構の解明および臨床応用	若井 俊文	消化器外科	5,850,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
小動物のマイクロエンドモデルの確立と新規根管治療法や根管治療薬の開発に関する研究	野杵 由一郎	歯の診療科	5,200,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヘッジホググシグナル伝達系は末梢神経再生を誘導する	瀬尾 憲司	歯科麻酔科	4,030,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
高付加価値型菌周炎ワクチン—DNAオリガミとイミダゾキノリンによるIgA誘導—	多部田 康一	菌周病科	6,500,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肥満・糖尿病・菌周疾患への遺伝的背景と環境・代謝要因の相互作用に対する包括的解析	葭原 明弘	お口の健康室	6,890,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
地域の全世代保健/医療ビッグデータの統合解析による健康寿命延伸エビデンスの創成	曾根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	6,500,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
象牙質・歯髄複合体の創傷治癒・再生過程における幹細胞の誘導と分化機構の解明	吉羽 邦彦	歯の診療科	6,500,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
摂食運動に関わる咀嚼と嚥下の機能連関	井上 誠	口腔リハビリテーション科	5,720,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
p53遺伝子欠損コンソミックマウスを用いた口蓋裂発症メカニズム解析	高木 律男	顎顔面口腔外科	3,640,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
菌周炎患者口腔細菌叢—腸内細菌叢連関を基盤とした全身疾患リスク因子の同定	中島 貴子	歯科総合診療部	7,280,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
大規模疫学調査に基づく中国の食道癌発症リスクの同定と発症低減策の費用対効果の分析	赤澤 宏平	医療情報部	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
乳歯歯髄由来ヒトiPS細胞からの歯形成細胞への分化誘導制御	齊藤 一誠	小児歯科・障がい者歯科	2,600,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
次世代型スーパー肝線維化改善細胞を用いた肝臓再生療法開発への基盤研究	寺井 崇二	消化器内科	5,200,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ホログenom解析によるIgA腎症の病態解析と治療ターゲット探索	成田 一衛	腎・膠原病内科	4,160,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
「心の理論」の脳基盤を介した自閉症の病態解明およびサル自閉症モデル動物の作成	染矢 俊幸	精神科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発	加来 賢	冠・ブリッジ診療科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨質(コラーゲン)が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る	魚島 勝美	冠・ブリッジ診療科	4,030,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
都市部一般住民の口腔健康と動脈硬化性疾患の関係についての前向きコホート研究	小野 高裕	義歯診療科	4,940,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
CLL希少地域である日本からの挑戦～確実な鑑別診断法の確立と分子病態の解明～	瀧澤 淳	血液・内分泌・代謝内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
新生児蘇生記録システムの開発と応用	和田 雅樹	魚沼地域医療教育センター	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
生体吸収性ハイドロゲルシートを用いた内視鏡的粘膜下層剥離術後食道狭窄予防法の開発	橋本 哲	消化器内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
小腸絨毛基底膜の「窓」の解析と小腸吸収評価システムの開発	横山 純二	消化器内科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
デジタル実体顕微鏡蛍光イメージングによる食道癌3D微細血管診断法の確立	竹内 学	消化器内科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
メタボロミクスを用いた心肺血管疾患における代謝リモデリングの解析	尾崎 和幸	循環器内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
心室細動の発症・再発に関わる解剖学的因子を標的とした新たな心室細動治療戦略の開発	飯嶋 賢一	循環器内科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
サイトカインパネル解析を用いた急速進行性間質性肺疾患の難治化機序の解明	高田 俊範	魚沼地域医療教育センター	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
サイトカインパネル解析を用いた自己免疫性肺胞蛋白症の病態変化機序の解明	赤坂 圭一	魚沼地域医療教育センター	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
腎系球体メサングウム細胞とIgA1の相互作用および関連分子による修飾機構	金子 佳賢	腎・膠原病内科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
重合体形成阻害を標的としたポリグルタミン病の新規治療法開発	他田 正義	神経内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
シヌクレイノパチー患者における腸内細菌バイオマーカーの解析	小澤 鉄太郎	魚沼地域医療教育センター	2,990,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ヘパリン親和性エリスロポエチンの組織保護・再生効果の検討	森山 雅人	腫瘍内科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨髄グリコサミンogリカン糖鎖異常が造血細胞移植後の造血分化とGVHDに与える影響	増子 正義	高密度無菌治療部	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
難治がん克服を目指したNKp44-キメラ型受容体と新規NK細胞増幅法の開発	今井 千速	小児科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肺炎球菌の選択的除菌を目的としたアンチセンス療法の開発	大塚 岳人	小児科	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
統合失調症発端者・両親のエクソーム解析に基づくリスク遺伝子確定と死後脳発現解析	渡部 雄一郎	魚沼地域医療教育センター	2,730,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
食道癌のリンパ行性進展に関与する脂質メディエーター分子機構の解明および臨床的意義	市川 寛	消化器外科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
肝細胞癌発癌過程におけるオートファジーを介した分子制御機構の解明および臨床的意義	坂田 純	消化器外科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
大動脈疾患における老化シグナルを介した血管リモデリング機構の解明	長澤 綾子	心臓血管外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
酸化ストレスマーカーはドナー肺常温生体外還流中の肺機能評価マーカーとなり得るか	小池 輝元	呼吸器外科	2,990,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
腫瘍特異的遺伝子異常による肺癌再発予測バイオマーカーの開発と補助化学療法の効果	橋本 毅久	魚沼地域医療教育センター	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
圧迫性頸髄症を対象とした3DAC法による脊髄神経路変性の評価と歩行機能の対比	浦川 貴朗	整形外科	3,900,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨軟部肉腫における血中循環腫瘍細胞の新規検出法による予後予測	堀田 哲夫	手術部	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨折ゼロ・寝たきりゼロをめざした高齢者脆弱性大腿骨近位部骨折の病態解明研究	遠藤 直人	整形外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
進化論モデルを用いた内膜症から卵巣類内膜癌への進展メカニズムの解明	加嶋 克則	魚沼地域医療教育センター	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
BRCAを含む19遺伝子解析による卵巣癌個別化治療と発症ハイリスクグループの同定	関根 正幸	産科婦人科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肝芽腫におけるmTOR細胞内シグナル発現機構の解明とラパマイシン治療法の開発	荒井 勇樹	小児外科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
家兔気管大欠損モデルにおける自然修復機構の組織生化学的解析と自然修復調節法の確立	窪田 正幸	小児外科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
$\alpha$ -SMA陽性に転化した細胞の動態から歯髄組織修復・再生メカニズムの解明に挑む	吉羽 永子	歯の診療科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
インプラント検討症例の残存歯咬合力を用いたヒト生体骨梁モデルの3次元有限要素解析	Stegaroiu Roxana	お口の健康室	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
マルチチャンネルレコーディングシステムを利用した摂食嚥下機能時の大脳皮質活動記録	白石 成	口腔リハビリテーション科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
顎関節滑膜組織内での疼痛伝達機序の解明-滑膜表層細胞と神経ペプチドに着目して-	池田 順行	顎顔面口腔外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
下歯槽神経の神経障害性疼痛における神経虚血の関与-MRAとNIRSでの血流検索-	倉田 行伸	歯科麻酔科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
口の痛みと意欲低下の関連-動物実験系の確立とエビジェネティクス修飾の可能性-	佐藤 由美子	歯科麻酔科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
小児の口唇閉鎖力を改善すると咀嚼運動は改善できる	早崎 治明	小児歯科・障がい者歯科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
縦断研究による高齢者の唾液流量に関する回帰モデルの作成	濃野 要	予防歯科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
末梢複合刺激がもたらす嚥下機能変調効果	渡邊 賢礼	口腔リハビリテーション科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
歯科治療「力」体感教育システムの開発	藤井 規孝	歯科総合診療部	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価の臨床応用	木村 慎二	総合リハビリテーションセンター	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脂質ラフトにおける神経極性決定シグナル伝達制御機構の解明	本多 敦子	病理部	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肝幹前駆細胞マーカー陽性肝細胞癌の生物学的悪性度を規定する因子の解明	土屋 淳紀	消化器内科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肝内免疫監視不全の回復と抗体関連型拒絶応答を応用した肝癌に対する新規治療法の開発	山際 訓	消化器内科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
生理的凝固阻止因子および炎症・老化の抗凝固療法に与える影響の解明	和泉 大輔	循環器内科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
体外増幅自己赤芽球移植と自己骨髄単核細胞移植による血管新生治療の比較試験	小澤 拓也	循環器内科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
新規血管老化関連分子による老化制御メカニズムの解明	須田 将吉	循環器内科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
化学療法後の免疫再構成を利用した進行期肺癌に対する新規免疫療法の開発	渡部 聡	呼吸器・感染症内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
蛋白結合尿毒素物質のHDL機能への作用と治療—腎臓病による動脈硬化を予防する—	山本 卓	腎・膠原病内科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
新規遺伝子変異によるIgA腎症病態モデル解析	後藤 眞	腎・膠原病内科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
気管支喘息モデルにおけるshRNA導入樹状細胞を用いた免疫療法の開発	小屋 俊之	呼吸器・感染症内科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
小児バセドウ病に対するコレステロール吸収阻害剤併用療法の多施設ランダム化比較試験	長崎 啓祐	小児科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント分子を標的とするキメラ抗原受容体遺伝子導入T細胞の新規開発	今村 勝	小児科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症多発罹患者系エクソーム解析を起点とするリスク遺伝子確定と死後脳発現解析	布川 綾子	精神科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
注意欠如・多動症の脳磁図研究—病態解明から臨床検査へ	北村 秀明	精神科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌の浸潤・転移能に関与する脂質メディエーター分子制御機構の解明および臨床的意義	羽入 隆晃	物流センター	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌薬物療法抵抗性の分子機構における転写メディエーターMED12異常発現の解明	島田 能史	消化器外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
オートファジーによる胸部外科疾患の病態の理解と制御	土田 正則	呼吸器外科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
小児脳幹グリオーマの新規治療法開発:ラットモデルによる脳幹部へのCED法の研究	吉村 淳一	脳神経外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
CDK4を標的とした骨軟部腫瘍の新規治療法の開発	生越 章	魚沼地域医療教育センター	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
エダラボンによる脊髄損傷の新規治療法の開発	石井 秀明	麻酔科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
リドカイン代謝産物の鎮痛機序の解明と鎮痛薬としての可能性	古谷 健太	麻酔科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ミュー管由来類内膵腺癌の分子生物学的特徴解明と発生起源鑑別法の確立	山口 雅幸	総合周産期母子医療センター(産科)	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
安全、確実な側頭骨手術のための高精度3D側頭骨モデルの開発	高橋 邦行	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
カテゴリ知覚を用いた聴覚時間分解能検査器の開発	相澤 直孝	魚沼地域医療教育センター	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
緑内障患者の視覚的QOL維持のための形態・機能解析と個別化治療	福地 健郎	眼科	260,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
唾液腺腫瘍の低酸素レベル細胞外環境におけるエネルギー代謝調節機構	丸山 智	顎顔面口腔外科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者における非生理的咬耗の治療基準策定のための象牙質損耗量の測定と治療予後評価	石崎 裕子	歯科総合診療部	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
体幹角度と食事姿勢が咀嚼時下顎・頭部運動に及ぼす影響—高齢者の快適な食事のために	佐藤 直子(五十嵐直子)	義歯診療科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
レトロネーザルを応用した咽頭残留の定量評価～咽頭残留に影響する因子～	堀 一浩	義歯診療科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
iPS細胞由来液性パラクリン因子による骨再生医療の開発	片桐 渉	口腔再建外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
p53ノックアウトマウス人工授精凍結胚を用いた口蓋裂発生メカニズムの解析	児玉 泰光	顎顔面口腔外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
上顎骨移動術が鼻腔形態ならびに鼻腔通気度に及ぼす影響を解明する	長谷部 大地	口腔再建外科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
より均一な口腔粘膜上皮前駆/幹細胞による凍結培養粘膜の開発	小山 貴寛	顎顔面口腔外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
三叉神経神経障害性疼痛におけるマクロファージサブタイプin vivoイメージング	照光 真	歯科麻酔科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
mTOR阻害剤による口内炎の発症機序の解明	北村 信隆	プロトコールデータセンター	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯周炎組織中におけるアルツハイマー病原因分子のネットワーク解析	久保田 健彦	歯周病科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
新規サイトカインIL-17Cから歯周炎病態形成メカニズムを探る	伊藤 晴江	歯周病科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
エネルギー代謝調節遺伝子UCPの閉経後女性歯周炎・糖尿病・肥満・骨粗鬆症への関与	杉田 典子	歯周病科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
補綴物を含めた咬合が冠動脈性心疾患・脳血管疾患の発症および原因死に与える影響	山賀 孝之	予防歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
口腔機能改善と平衡機能を含む運動器機能改善に関する無作為比較試験	宮崎 秀夫	予防歯科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
在宅診療にも応用できる、難症例に対する簡便な全部床義歯製作システムの確立	金田 恒	義歯診療科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ICT(情報通信技術)とピエゾセンサーを融合した在宅嚥下機能評価訓練システム開発	櫻井 直樹	義歯診療科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
舌神経断裂後の味覚受容機構の回復過程の解析	吉川 博之	歯科麻酔科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
笑気吸入鎮静法とデクスメトミジン添加リドカインを併用した行動調整法	齊藤 陽子	小児歯科・障がい者歯科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
診療参加型歯科臨床実習における学習効果の可視化-eポートフォリオの開発	小田 陽平	口腔再建外科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨格筋由来生理活性因子(マイオカイン)BDNFによる肥満・糖尿病の予防・治療	羽入 修	内分泌・代謝内科	390,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
脳梗塞に対する新規治療標的分子としてのプログラニユリンの検討	下畑 享良	神経内科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
大腸癌の発生におけるDNA損傷修復応答の意義	味岡 洋一	病理部	520,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
PARK7 の非アルコール性脂肪肝炎における役割と診断的応用	高村 昌昭	消化器内科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新規骨粗鬆症治療薬デノスマブによる冠動脈石灰化抑制効果の検討	廣野 暁	魚沼地域医療教育センター	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肺MAC症の重症化・致死化と鉄代謝異常との関連～新規治療法の開発に向けて	茂呂 寛	検査部	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
顆粒球系細胞をターゲットとした中枢神経系脱髄疾患の疾患制御と生物学的意義の解明	河内 泉	神経内科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
新生児ヒトパレコウイルス3型感染症発症のメカニズム—移行抗体の役割—	齋藤 昭彦	小児科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
単純型統合失調症をプロトタイプとした青年期認知機能障害の病態解明と治療法の確立	鈴木 雄太郎	精神科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
児童・思春期ADHD治療薬誘発性QT延長症候群発症予測マーカーの探索	須貝 拓朗	精神科	520,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
消化管間質腫瘍の発生部位と予後に関わる遺伝子の解析	石川 卓	医療情報部	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌術前補助化学療法抵抗性の分子機構における酸化ストレス系シグナル異常の解明	小杉 伸一	魚沼地域医療教育センター	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
p62-Keap1-Nrf2 pathwayによる大腸癌抗癌剤耐性機序の解明	亀山 仁史	消化器外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
蛍光免疫組織化学を用いた大腸pSM癌における簇出の生物学的評価及びその意義	野上 仁	消化器外科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌における光線力学診断を応用した化学療法効果予測法の開発	皆川 昌広	消化器外科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌におけるBudding cancer cellの新たな生物学的評価法の確立	滝沢 一泰	消化器外科	780,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
A role of the endocannabinoid system in a favorable recovery profile after propofol anesthesia	PETRENKO ANDREY	麻酔科	390,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄前角運動ニューロンにおける麻酔薬の作用と神経保護効果の検討	本田 博之	集中治療部	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
高速画像解析法による末梢神経損傷後の脊髄後角可塑性変化の解析	馬場 洋	麻酔科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
泌尿器科癌におけるZFHX3/ATBF1の機能解析と分子標的治療への応用	富田 善彦	泌尿器科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ABO血液型不適合移植腎障害におけるADAMTS13、vWFと免疫学的順応	齋藤 和英	泌尿器科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
加齢性難聴発症の病態解明—脳血管障害との関係についての研究	森田 由香	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
島状側頭筋移行術を用いた顔面神経麻酔再建術における神経可塑性と神経再支配機序	松田 健	形成・美容外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
整数心拍数・呼吸数変動の非線形解析によるICU入室患者の重症度と転帰の判定	遠藤 裕	救急科	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
μ CTによるエナメル質・象牙質MD定量解析シーズとなる新規ファントムの開発	坂井 幸子(林 幸子)	歯科放射線科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
バイオフィーム制御の概念転換の必要性の提示とマトリックスを標的とした制御戦略開発	竹中 彰治	歯の診療科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
多機能性エ피ジェネティクス低分子化合物を用いた骨増成機構への多面的アプローチ	秋葉 陽介	冠・ブリッジ診療科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
培養骨膜細胞が再生骨にもたらす骨代謝促進の3D-CT精密画像解析による質的検出	星名 秀行	インプラント治療部	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
顎骨内応力解析を用いた成長シミュレーションによる顎変形症診断システムの開発	齋藤 功	矯正歯科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
機械学習理論を実装した顎変形症診断支援データベースシステムの開発とその臨床応用	越知 佳奈子	矯正歯科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
咽頭への味覚刺激がもたらす嚥下変調効果を発達過程から解明する	中村 由紀	小児歯科・障がい者歯科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯髄処置にて廃棄される神経幹細胞からの神経再生の試み	澤味 規	小児歯科・障がい者歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
意図的歯根切除と抗菌性薬剤が歯の再植後の歯髄・歯根膜治癒過程に及ぼす影響について	大島 邦子	小児歯科・障がい者歯科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
シトルリン化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症メカニズムの解明	小林 哲夫	歯科総合診療部	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
スケーリング後の菌血症が生体応答に及ぼす影響と光エネルギー応用の効果	両角 俊哉	歯周病科	650,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ゾプリヌス菌の遺伝子検査法の開発	金子 昇	予防歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
臨床試験で競合リスクに相関がある場合の新たな治療効果判定方法の開発	赤澤 宏平	医療情報部	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
fNIRSを用いて口蓋裂言語を光脳機能学的に解析する	高木 律男	顎顔面口腔外科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
遺伝子改変メダカを用いたNASH環境下での新規肝発癌モデルの開発	寺井 崇二	消化器内科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
孤発性タウオパチーに相関するタウ遺伝子多型の生化学的意義のゲノム編集を用いた解明	小野寺 理	神経内科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
角化におけるミトコンドリアの役割	阿部 理一郎	皮膚科	3,380,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
神経発達障害のシナプス病態解明 - シグナル伝達経路異常の網羅的・定量的解析 -	染矢 俊幸	精神科	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
胆道疾患における脂質メディエーターと胆汁酸とによる新しい細胞情報伝達機構の解明	若井 俊文	消化器外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
咀嚼・嚥下機能に基づく要介護者用食品の物性評価	小野 高裕	義歯診療科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
コメ由来ペプチド素材を用いた口腔ケアアプリケーションと歯周病ペプチド医薬の開発	多部田 康一	歯周病科	780,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
移植治療用細胞の遺伝的不安定性の指標となるマーカーの探索	奥田 一博	歯周病科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
実験老化モデルを基盤とした加齢関連因子の臨床的検証	南野 徹	循環器内科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト誘導性細気管支前駆細胞 (iBP細胞)の創製	菊地 利明	呼吸器・感染症内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胚盤胞補完法を用いたin vivo肺再生	西條 康夫	腫瘍内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺胞蛋白症の発症機序を説明する数学モデルの構築とその検証	中田 光	生命科学医療センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボローム解析による乳癌代謝動態に関与する脂質メディエーター分子機構の解明	永橋 昌幸	消化器外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カルシウム感受性蛍光タンパクを用いたスライス及びin vivo脊髄イメージング	紙谷 義孝	魚沼地域医療教育センター	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍内不均一性に基づいた抗がん剤耐性機構の打破	榎本 隆之	産科婦人科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌エコーで舌初期癌の治療戦略を変える	林 孝文	歯科放射線科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
幹細胞の分化制御を指向した高架橋コラーゲン・スキャフォールドの開発	加来 賢	冠・ブリッジ診療科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病態可視化マウスを用いた新規歯周病病因論の探索	山崎 和久	お口の健康室	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リウマチ併発歯周炎患者のJAK分子標的・抗菌療法と機能検証	吉江 弘正	歯周病科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
介護保険施設における口腔機能維持管理と栄養管理との連携による社会経済効果分析	大内 章嗣	お口の健康室	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎臓病患者におけるiPS細胞由来腎糸球体上皮細胞の機能解析と病態解明	成田 一衛	腎・膠原病内科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
xeno-freeヒトiPS細胞樹立のための高機能歯髄由来feeder細胞の開発	齊藤 一誠	小児歯科・障がい者歯科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂質メディエーターを介した癌と宿主の相互作用による乳癌の浸潤・転移機序の解明	永橋 昌幸	消化器外科	7,410,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
融合遺伝子に注目した卵巣癌の病態解明と新しい治療戦略の構築	吉原 弘祐	産科婦人科	8,580,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内視鏡的食道筋層生検法による好酸球性食道筋炎の疾患概念確立と病態解明	佐藤 裕樹	消化器内科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マトリックス分解酵素(MMP13)を用いた肝硬変に対する抗線維化治療の開発	横尾 健	消化器内科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体由来気管スキャフォールドとiPS細胞を用いた気管再生技術の研究開発	周 ケイリョウ	腫瘍内科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
薬剤性腎障害の新規治療戦略:メガリンを標的とした予防・検査法の開発	青木 信将	高次救命災害治療センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糸球体腎炎・腎臓病の発症進展における銅含有酵素を介した酸化ストレスの影響	酒巻 裕一	腎・膠原病内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
視神経脊髄炎におけるインフラマソームを介した自然免疫機構の解明	佐治 越爾	神経内科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ヒト毛盤の形態学的基盤の確立	折目 真理	皮膚科	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
統合失調症患者における脳内コンドロイチン硫酸鎖とペリニューロナルネットの変化	湯川 尊行	精神科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
近親婚の両親を持つ統合失調症罹患同胞のエクソーム解析に基づくリスク遺伝子の確定	井桁 裕文	精神科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
性腺機能が精神疾患の難治化に及ぼす影響	常山 暢人	精神科	3,380,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
乳癌の浸潤・転移における癌間質液中スフィンゴシン-1-リン酸の役割と臨床的意義	土田 純子	消化器外科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
アセトアミノフェンの脊髄後角における鎮痛機序解明と新規投与経路の開発	大橋 宣子	麻酔科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
シグマ1受容体の脊髄後角における鎮痛作用機序の解明	山本 豪	麻酔科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
神経障害性痛における脊髄グリシンニューロンの役割の解明	倉部 美起	麻酔科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
オピオイドによる痒みの細胞内シグナル及びTRPA1-痒みシグナル連関の解明	佐々木 美佳	麻酔科	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ステイロイド投与がNR3C1発現上昇無精子症の造精機能に与える影響	茅原 誠	産科婦人科	910,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
子宮体がんにおける蛍光法を併用した腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	磯部 真倫	産科婦人科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
マウス腕神経叢神経移行術モデルを用いた末梢神経再生経路全体の三次元的解析	若槻 華子	形成・美容外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯髄創傷治癒におけるプロスタグランジンE2の役割: 輸送担体発現と受容体の機能解析	大倉 直人	歯の診療科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
抗菌成分のストレス応答による複合バイオフィルム形成亢進機構の解明	大墨 竜也	歯の診療科	2,470,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
舌咽神経誘発嚥下を標的とした咀嚼嚥下メカニズム解明	辻 光順	摂食・嚥下機能回復部	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
Role of intra and extracellular miRNAs in stem cell-based bone regeneration	Rosales Marcelo	冠・ブリッジ診療科	2,210,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
歯列欠損拡大のリスク因子の解明と予後予測モデルの構築: 多施設共同研究	多田 紗弥夏	予防歯科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
培養骨膜シートの新規骨再生経路の分子基盤の解明	上松 晃也	インプラント治療部	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
インプラント手術における口底部静脈のリスク評価と動脈走行の予測	勝見 祐二	顎顔面口腔外科	2,340,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
骨髄由来間葉系幹細胞の局所投与によるBRONJに対する新規治療法の効果検証	齋藤 太郎	顎顔面口腔外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
歯周病原細菌は腸管透過性亢進に関与するか？	宮沢 春菜	歯周病科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
DNA損傷応答からみた, Barrett食道癌ハイリスク群抽出と異型上皮の質的判別	渡邊 玄	病理部	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヨーグルトの抗菌-整腸作用に着目した術後難治性炎症病態に対する新規治療法の開拓	田島 陽介	光学医療診療部	780,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術前スクリーニングによる周術期呼吸リハビリ体制の確立	穂苅 諭	呼吸器・感染症内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シナプスシグナリングの網羅的・定量的解析による自閉症の病態解明	江川 純	精神科	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
二段階口蓋形成法における早期硬口蓋閉鎖の有用性: 音声言語と音響特性による言語成績	大湊 麗	言語治療室	260,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性不整脈症候群におけるゲノム上の非翻訳領域の役割と機序の解明	八木原 伸江	循環器内科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新しい心腎連関機序: メガリンの発現抑制による腎保護を介した動脈硬化軽減作用の検証	悴田 亮平	腎・膠原病内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性期脳梗塞治療戦略としてのマイクログリア細胞移植療法の確立	金澤 雅人	神経内科	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SOCS1/3欠失マウスで増加する特異なT細胞分画が移植片対宿主病に及ぼす役割	牛木 隆志	生命科学医療センター	1,430,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シクロスポリン腎症の病態解明と早期診断を目的としたバイオマーカーの開発	山田 剛史	小児科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
毛髪の角化機構の解明	藤川 大基	皮膚科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
毛包内毛根鞘の分化におけるkeratin71の役割の解明	藤本 篤	皮膚科	1,690,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症罹患同胞対のエクソーム解析を基盤としたリスク変異の確定	保谷 智史	精神科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拡張不確かさ解析を用いたセットアップマージン評価モデル及び照合データベースの開発	棚邊 哲史	放射線治療科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺扁平上皮癌におけるグルタミン代謝依存性の解析と治療法の開発	佐藤 征二郎	呼吸器外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
てんかん焦点同定のための高精度術前評価法の開発-高密度脳波での高周波律動の解析-	平石 哲也	脳神経外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄前角運動ニューロンに対する活性酸素の作用機序解明と新規脊髄保護療法の開発	大橋 正幸	整形外科	2,080,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージング法を用いた疼痛評価系の確立	渡部 達範	手術部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎血管内皮細胞と赤血球における血液型糖鎖抗原の特異性の解析と移植への応用	田崎 正行	泌尿器科	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
前立腺組織内アンドロゲン環境の変化に適応したアンドロゲン受容体活性化機構の解明	瀧澤 逸大	泌尿器科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
卵巣がん・子宮体がん幹細胞のがん腫特異的制御機構の解明	石黒 竜也	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ホールマウント標本による末梢神経再生の観察	親松 宏	形成・美容外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
摂食嚥下障害の評価へ向けた超音波検査による顎口腔領域サルコペニア指標の確立	池 真樹子	歯科放射線科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄細胞の機能を介した局所の破骨細胞分化制御機構の探索	長澤 麻沙子	冠・ブリッジ診療科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元口腔粘膜モデルを用いた分子・細胞レベルでの義歯床下骨吸収メカニズムの検証	塩見 晶	歯科総合診療部	2,340,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
加熱による非侵襲的なデンタルインプラント除去法の確立	河村 篤志	顎関節治療部	1,820,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼嚥下動態評価による安全な介護食の開発	藤原 茂弘	義歯診療科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
培養骨膜細胞による骨代謝活性促進効果の臨床的有効性の検証	小川 信	生命科学医療センター	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血管内皮増殖因子は末梢神経損傷後の神経再生に関与するか	金丸 博子(塚田博子)	歯科麻酔科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周病原細菌感染に対するビタミンDによる新規の予防・治療効果の検討	野中 由香莉	歯周病科	1,560,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
加齢に伴う三叉神経領域における異常疼痛の発現機序の解明	大竹 正紀	矯正歯科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メタボリックシンドローム有病者における歯周病と認知症の関連	皆川 久美子	予防歯科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NK細胞に3種のシグナルを同時に伝達する第3世代キメラ型人工受容体の新規開発	吉田 咲子	小児科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規ハイドロダイナミック遺伝子導入システムによる遺伝子治療の前臨床研究	上村 顕也	消化器内科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NK細胞へのIL-21遺伝子導入: 新たな細胞療法の開発	高地 貴行	小児科	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
経角膜電気刺激治療の他覚的および定量的治療評価方法の確立	畑瀬 哲尚	眼科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
在宅療養患者の咀嚼機能向上に寄与する, 食支援のための簡便な食事姿勢探索法の確立	昆 はるか	義歯診療科	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咽頭電気刺激の嚥下誘発効果と神経・筋機構の解明	真柄 仁	摂食嚥下機能回復部	910,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔粘膜で癌特性を司るセラチン17: mTORシグナル経路を介した発癌機構の解析	三上 俊彦	口腔再建外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
初期成年期及び成年期の歯の喪失に影響を与える要因の解析と歯科保健プログラムの構築	米澤 大輔	お口の健康室	650,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌機能障害が嚥下に及ぼす影響	辻村 恭憲	口腔リハビリテーション科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計21件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
TDP-43異常を伴うALS病態モデルの確立	須貝 章弘	神経内科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
IGFBP-3を起点とする骨代謝制御を介した新規骨増生法開発	江口 香里	冠・ブリッジ診療科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
ストレスによる内因性疼痛制御機構の変調のメカニズム	長谷川 真奈	歯科総合診療部	1,300,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
矯正歯の移動におけるプロスタグランジンI2に着目した疼痛メカニズム解析	大倉 麻里子	矯正歯科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
コラーゲンの2次構造が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズム探索	井田 貴子	冠・ブリッジ診療科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
運動・栄養・医療同時介入による高齢糖尿病患者のwell-being実現の可能性	由澤 咲子	血液・内分泌・代謝内科	900,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会

小計6件  
計300件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 2 論文発表等の実績

#### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Shimizu I, Yoshida Y, Minamino T.	循環器内科	A role for circadian clock in metabolic disease.	Hypertens Res. 2016 Jul;39(7):483-91	Review
2	Shimizu I, Minamino T.	循環器内科	Physiological and pathological cardiac hypertrophy.	J Mol Cell Cardiol. 2016 Aug;97:245-62	Review
3	Sato A, Hasegawa Y, Minamino T.	循環器内科	The first reported case of a transvenous left ventricular pacing lead of cardiac resynchronization therapy causing aggravation of coronary atherosclerosis.	Europace. 2016 Nov;18(11)	Case Report
4	Yagihara N, Watanabe H, Barnett P, 他	循環器内科	Variants in the SCN5A Promoter Associated With Various Arrhythmia Phenotypes.	J Am Heart Assoc. 2016 Sep 13;5(9)	Original Article
5	Watanabe T, Kashimura T, Kodama M, 他	循環器内科	Failing left ventricles have an enhanced post-stimulation potentiation despite their impaired force frequency relationship. Int Heart J.	Int Heart J. 2016 May 25;57(3):317-22	Original Article
6	Ozaki K, Okubo T, Tanaka K, 他	循環器内科	Manifestation of latent left ventricular outflow tract obstruction in the acute phase of Takotsubo cardiomyopathy.	Intern Med. 2016;55(23):3413-3420	Original Article
7	Fujihara K, Igarashi R, Matsunaga S, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	Comparison of baseline characteristics and clinical course in Japanese patients with type 2 diabetes among whom different types of oral hypoglycemic agents were chosen by diabetes specialists as initial monotherapy (JDDM 42).	Medicine (Baltimore). 2017 Feb;96(7):e6122	Original Article
8	Furukawa K, Fuse I, iwakura Y, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	Advanced glycation end products induce brain-derived neurotrophic factor release from human platelets through the Src-family kinase activation	Cardiovasc Diabetol. 2017 Feb 8;16(1):20	Original Article
9	Seki Y, Wakai K	内分泌・代謝内科/血液内科	Pathological findings in a case of bone marrow carcinosis due to gastric cancer complicated by disseminated intravascular coagulation and thrombotic microangiopathy	Int J Hematol. 2016 Oct;104(4):506-11	Case Report
10	Kodama S, Fujihara K, Ishiguro H, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	Quantitative assessment of genetic testing for type 2 diabetes mellitus based on findings of genome-wide association studies	Ann Epidemiol. 2016 Nov;26(11):816-818.e6	Original Article

小計10件

11	Yoshizawa S, Kodama S, Fujihara K, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	Utility of nonblood-based risk assessment for predicting type 2 diabetes mellitus: A meta-analysis	Prev Med. 2016 Oct;91:180-187	Review
12	Fujihara K, Igasashi R, Yamamoto M, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	Impact of glucose tolerance status on the development of coronary artery disease among working-age men	Diabetes Metab. 2017 Jun;43(3):261-264	Original Article
13	Kawamoto K, Miyoshi H, Yoshida N, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	Clinicopathological, Cytogenetic, and Prognostic Analysis of 131 Myeloid Sarcoma Patients	Am J Surg Pathol. 2016 Nov;40(11):1473-1483.	Original Article
14	Igarashi R, Furukawa K, Heianza Y, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	Impact of individual components and their combinations within a family history of hypertension on the incidence of hypertension: Toranomon hospital health management center study 22	Medicine (Baltimore). 2016 Sep;95(38):e4564	Original Article
15	Ushiki T, Huntington ND, Glaser SP, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	Rapid Inflammation in Mice Lacking Both SOCS1 and SOCS3 in Hematopoietic Cells	PLoS One. 2016 Sep 1;11(9):e0162111	Original Article
16	Kawamoto K, Miyoshi H, Yoshida N, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	MYC translocation and/or BCL 2 protein expression are associated with poor prognosis in diffuse large B-cell lymphoma	Cancer Sci. 2016 Jun;107(6):853-61	Original Article
17	Shibasaki Y, Katagiri T, Kobayashi H, 他	内分泌・代謝内科/血液内科	The Dinakara equation for adjusting DLCO for hemoglobin in the HCT-CI is superior to the Cotes equation for predicting high-risk patients in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Am J Hematol. 2016 May;91(5):E296	Letter
18	Kuroda T, Takeuchi H, Nozawa Y, 他	腎・膠原病内科	Acute exacerbation of interstitial pneumonia associated with rheumatoid arthritis during the course of treatment for Pneumocystis jirovecii pneumonia: a case report.	BMC Res Notes. 2016 Apr 26;9:240	Case Report
19	Kuroda T, Tanabe N, Nozawa Y, 他	腎・膠原病内科	Effects of biological agents in patients with rheumatoid arthritis and amyloidosis treated with hemodialysis.	Intern Med. 2016;55(19):2777-2783	Others
20	Hayashi M, Kikuchi T, Takada T	呼吸器・感染症内科/心療内科	Mycophenolate mofetil for the patients with interstitial lung diseases in amyopathic dermatomyositis with anti-MDA-5 antibodies.	Clin Rheumatol. 2017 Jan;36(1):239-240	Case Report
21	Kobayashi Y, Kamimura K (contributed equally and corresponding), Abe H, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Effects of fibrotic tissue on liver-targeted hydrodynamic gene delivery.	Mol Ther Nucleic Acids. 2016 Aug 30;5(8):e359	Original Article
22	Yokoo T, Kamimura K (corresponding author), Abe H, 他	消化器内科/肝胆膵内科	The Liver-targeted Hydrodynamic Gene Therapy: Recent Advances in the Technique.	World J Gastroenterol. 2016 Oct 28;22(40):8862-8868	Review
23	Watanabe Y, Kamimura K (corresponding author), Iwasaki T, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Case of severe alcoholic hepatitis treated with granulocytapheresis	World J Clin Cases. 2016 Nov 16;4(11):369-374	Original Article

小計13件

24	Ogawa K, Kamimura K (corresponding author), Mizuno KI, 他	消化器内科/肝胆膵内科	The combination therapy of dissolution using carbonated liquid and endoscopic procedure for bezoars: pragmatical and clinical review.	Gastroenterol Res Pract. 2016;2016:7456242	Original Article
25	Kamimura K (corresponding author), Evans DC, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Diagnosis and management of gastrointestinal foreign bodies.	Gastroenterol Res Pract. 2016;2016:5692650	Others
26	Mizuno KI, Takahashi K, Tominaga K, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Endoscopic Removal of Ingested Dentures and Dental Instruments: A Retrospective Analysis.	Gastroenterol Res Pract. 2016;2016:3537147	Original Article
27	Mizuno K, Sato H, Hashimoto S, 他	消化器内科/肝胆膵内科	A novel training model composed of nonbiological materials for endoscopic submucosal dissection.	Gastrointest Endosc. 2016 Aug;84(2):373-4	Others
28	Takahashi K, Tsuchiya A, Terai S	消化器内科/肝胆膵内科	An Unusual Case of an Extremely Large $\alpha$ -Fetoprotein-Producing Tumor.	Gastroenterology. 2016 Dec;151(6):1077-1080	Original Article
29	Nakano O, Tsuchiya A, Yamagiwa S, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Stomach Dysfunction Is a Potential Risk Factor for Wernicke's Encephalopathy.	Intern Med. 2016;55(24):3679-3680	Original Article
30	Takahashi K, Sato Y, Kohisa J, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Vonoprazan 20 mg vs lansoprazole 30 mg for endoscopic submucosal dissection-induced gastric ulcers.	World J Gastrointest Endosc. 2016 Nov 16;8(19):716-722.	Original Article
31	Nakajima N, Sato H, Takahashi K, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Muscle layer histopathology and manometry pattern of primary esophageal motility disorders including achalasia. Neurogastroenterol Motil. 2017 Mar;29(3).	Neurogastroenterol Motil. 2017 Mar;29(3).	Original Article
32	Terai S, Tsuchiya A.	消化器内科/肝胆膵内科	Status of and candidates for cell therapy in liver cirrhosis: overcoming the "point of no return" in advanced liver cirrhosis	J Gastroenterol. 2017 Feb;52(2):129-140	Review
33	Sato Y, Hashimoto S, Mizuno K, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Management of gastric and duodenal neuroendocrine tumors.	World J Gastroenterol. 2016 Aug 14;22(30):6817-28	Review
34	Hirose K, Kanefuji T, Suda T, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Formulation for Effective Screening and Management of Nonalcoholic Steatohepatitis: Noninvasive NAFLD Management Strategy.	Gastroenterol Res Pract. 2016;2016:6343656.	Original Article
35	Sato H, Mizuno K, Terai S.	消化器内科/肝胆膵内科	Novel ex-vivo training model for peroral endoscopic myotomy using hydrogel.	Dig Endosc. 2016 Jul;28(5):620.	Letter
36	Sato H, Sato Y, Hashimoto S, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Gastrointestinal: Salvage peroral endoscopic myotomy for outflow obstruction with growing esophageal diverticulum.	J Gastroenterol Hepatol. 2016 Jul;31(7):1237.	Case Report

小計13件

37	Kobayashi T, Tsuchiya A, Suda T, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Three Times Repeated Portal Venous Gas after Meals.	Intern Med. 2016;55(7):843-5.	Original Article
38	Sato H, Sagara S, Suzuki K, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Assessments of histologic changes after peroral endoscopic myotomy.	Gastrointest Endosc. 2016 Aug;84(2):377-8.	Original Article
39	Kuraoka N, Tsuchiya A, Suda T, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Improvement of Pancreatic Tumor-induced NAFLD with Pancrelipase.	Intern Med. 2016;55(1):89-90	Original Article
40	Tominaga K, Yamagiwa S, Setsu T, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Possible involvement of mucosal-associated invariant T cells in the progression of inflammatory bowel diseases.	Biomed Res. 2017;38(2):111-12	Original Article
41	Yamagiwa S, Ishikawa T, Waguri N, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Efficacy and safety of telaprevir- and simeprevir-based triple therapies for older patients with chronic hepatitis C.	World J Hepatol. 2017 Feb 18;9(5):252-262.	Original Article
42	Hayashi K, Takamura M, Yokoyama H, 他	消化器内科/肝胆膵内科	A Mesenteric Desmoid Tumor with Rapid Progression.	Intern Med. 2017;56(5):505-508	Case Report
43	Abe H, Kamimura K, Terai S.	消化器内科/肝胆膵内科	Drug-eluting beads in hepatocellular carcinoma.	Therap Adv Gastroenterol. 2017 Mar;10(3):337-338	Original Article
44	Takahashi K, Ishii Y, Hayashi K, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Loss of peristalsis of the esophagus due to diffuse esophageal leiomyomatosis.	Endoscopy. 2017 Feb;49(S 01):E95-E96.	Original Article
45	Kamimura K, Kobayashi Y, Takahashi Y, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Tumor markers for early diagnosis for brain metastasis of hepatocellular carcinoma: A case series and literature review for effective loco-regional treatment.	Cancer Biol Ther. 2017 Feb;18(2):79-84.	Original Article
46	Suzuki K, Yokoyama J, Kawauchi Y, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Phase 1 Clinical Study of siRNA Targeting Carbohydrate Sulphotransferase 15 in Crohn's Disease Patients with Active Mucosal Lesions.	J Crohns Colitis. 2017 Feb;11(2):221-228.	Others
47	Sato H, Nakajima N, Hasegawa G, 他	消化器内科/肝胆膵内科	Immunohistochemical differentiation of eosinophilic esophageal myositis from eosinophilic esophagitis.	J Gastroenterol Hepatol. 2017 Jan;32(1):106-113.	Original Article
48	Takayoshi Shimohata, Naotaka Aizawa, Hideaki Nakayama, 他	神経内科	Mechanisms and prevention of sudden death in multiple system atrophy	Parkinsonism Relat Disord. 2016 Sep;30:1-6	Review
49	Nozaki H, Kato T, Nihonmatsu M, 他	神経内科	Distinct molecular mechanisms of HTRA1 mutants in manifesting heterozygotes with CARASIL.	Neurology. 2016 May 24;86(21):1964-74	Original Article

小計13件

50	Masahiro Uemura, Kenshi Terajima, Yuji Suzuki, 他	神経内科	Visualization of the Intimal Flap in Intracranial Arterial Dissection Using High-Resolution 3T MRI	J Neuroimaging. 2017 Jan;27(1):29-32	Case Report
51	Izumi Kawachi, Hans Lassmann	神経内科	Neurodegeneration in multiple sclerosis and neuromyelitis optica	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2017 Feb;88(2):137-145	Review
52	Kamimura K, Matsumoto Y, Zhou Q, 他	腫瘍内科	Myelosuppression by chemotherapy in obese patients with gynecological cancers.	Cancer Chemother Pharmacol. 2016 Sep;78(3):633-41	Original Article
53	Ye X, Zhou Q, Matsumoto Y, 他	腫瘍内科	Inhibition of Glutaminolysis Inhibits Cell Growth via Down-regulating Mtorc1 Signaling in Lung Squamous Cell Carcinoma.	Anticancer Res. 2016 Nov;36(11):6021-6029.	Original Article
54	Egawa J, Hoya S, Watanabe Y, 他	精神科	Rare UNC13B variations and risk of schizophrenia: Whole-exome sequencing in a multiplex family and follow-up resequencing and a case-control study	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. 2016 Sep;171(6):797-805	Original Article
55	Sugai T, Suzuki Y, Yamazaki M, 他	精神科	High prevalence of obesity, hypertension, hyperlipidemia, and diabetes mellitus in Japanese outpatients with schizophrenia: A nationwide survey	PLoS One. 2016 Nov 17;11(11):e0166429	Original Article
56	Suzuki Y, Tajiri M, Sugimoto A, 他	精神科	Sex differences in the effect of atomoxetine on the QT interval in adult patients with attention-deficit hyperactivity disorder	J Clin Psychopharmacol. 2017 Feb;37(1):27-31	Original Article
57	Aizawa Y, Koyama A, Ishihara T, 他	小児科	Performance of a real-time PCR-based approach and droplet digital PCR in detecting human parechovirus type 3 RNA.	J Clin Virol. 2016 Nov;84:27-31	Original Article
58	Saitoh A.	小児科	Re: Severe Human Parechovirus Infections in Infants and the Role of Older Siblings	Am J Epidemiol. 2016 Oct 15;184(8):603-604	Letter
59	Saitoh A, Aizawa Y.	小児科	Intradermal Vaccination for Infants and Children.	Hum Vaccin Immunother. 2016 Sep;12(9):2447-55	Original Article
60	Otsuka T, Tajima N, Nagasaki K, 他	小児科	Successful Combined Treatment for Atrophic Thyroiditis With Growth Hormone Deficiency.	Glob Pediatr Health. 2016 Oct 3;3:2333794X16670082	Original Article
61	Nishizaki Y, Hiura M, Sato H, 他	小児科	A novel mutation in the human mineralocorticoid receptor gene in a Japanese family with autosomal-dominant pseudohypoaldosteronism type 1.	Clin Pediatr Endocrinol. 2016 Oct;25(4):135-138	Original Article
62	Nagahashi M, Wakai T, Shimada Y, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Genomic landscape of colorectal cancer in Japan: Clinical implications of comprehensive genomic sequencing for precision medicine	Genome Med. 2016 Dec 22;8(1):136	Others

小計13件

63	Nagahashi M, Tsuchida J, Moro K, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	High levels of sphingolipids in human breast cancer	J Surg Res. 2016 Aug;204(2):435-444	Original Article
64	Nagahashi M, Yuza K, Hirose Y, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	The roles of bile acids and sphingosine-1-phosphate signaling in the hepatobiliary diseases	J Lipid Res. 2016 Sep;57(9):1636-43	Review
65	Nagahashi M, Yamada A, Miyazaki H, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Interstitial fluid sphingosine-1-phosphate in murine mammary gland and cancer and human breast tissue and cancer determined by novel methods	J Mammary Gland Biol Neoplasia. 2016 Jun;21(1-2):9-17	Original Article
66	Nagahashi M, Matsuda Y, Moro K, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	DNA damage response and sphingolipid signaling in liver diseases	Surg Today. 2016 Sep;46(9):995-1005	Review
67	Nagahashi M, Yamada A, Aoyagi T, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Sphingosine-1-phosphate in the lymphatic fluid determined by novel methods	Heliyon. 2016 Dec 22;2(12):e00219	Original Article
68	Kobayashi T, Miura K, Ishikawa H, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Six-year graft survival after partial pancreas heterotopic auto-transplantation: a case report	Transplant Proc. 2016 Apr;48(3):988-90	Case Report
69	Miura K, Kobayashi T, Zhang Z, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Study of immune tolerance cases in adult living donor liver transplantation	Transplant Proc. 2016 May;48(4):1119-22	Original Article
70	Kobayashi T, Miura K, Ishikawa H, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Successful endoscopic management of acute necrotic pancreatitis and walled off necrosis after auxiliary partial orthotopic living-donor liver transplantation: a case report	Transplant Proc. 2016 May;48(4):1212-4	Case Report
71	Kobayashi T, Miura K, Ishikawa H, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Successful re-resection for locally recurrent retroperitoneal liposarcoma at four years after ex vivo tumor resection and autotransplantation of the liver: a case report	Transplant Proc. 2016 May;48(4):1215-7	Case Report
72	Ichikawa H, Kosugi SI, Kanda T, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Surgical and long-term outcomes following oesophagectomy in oesophageal cancer patients with comorbidity	Int J Surg. 2016 Dec;36(Pt A):212-218	Original Article
73	Tajima Y, Kameyama H, Yamada S, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Long-term survival in pseudo-Meigs' syndrome caused by ovarian metastases from colon cancer	World J Surg Oncol. 2016 Nov 14;14(1):286	Case Report
74	Ichikawa H, Kosugi S, Hirose Y, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Prognostic significance of NQO1 expression in esophageal squamous cell carcinoma after preoperative chemotherapy with cisplatin and 5-fluorouracil followed by curative esophagectomy	Int J Clin Exp Pathol 2016;9(7):7393-7401.	Original Article
75	Shimada Y, Tajima Y, Kameyama H, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Clinical significance of MED12 expression in colorectal cancer	Int J Clin Exp Pathol 2016;9(7):6937-6944.	Original Article

小計13件

76	Okamura T, Shimada Y, Nogami H, 他	消化器外科/乳腺・内分泌外科	Tumor Budding Detection by Immunohistochemical Staining is Not Superior to Hematoxylin and Eosin Staining for Predicting Lymph Node Metastasis in pT1 Colorectal Cancer	Dis Colon Rectum. 2016 May;59(5):396-402	Others
77	Koike T, Kitahara A, Sato S, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Lobectomy versus segmentectomy in radiologically pure solid small-sized non-small cell lung cancer	Ann Thorac Surg. 2016 Apr;101(4):1354-60	Others
78	Koike T, Koike T, Sato S, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Lobectomy and Limited Resection in Small-sized Peripheral Non-small-cell Lung Cancer	J Thorac Dis. 2016 Nov;8(11):3265-3274	Original Article
79	Sato S, Kitahara A, Koike T, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	A Case of Ectopic ACTH-Producing Pulmonary Carcinoid Arising in an Extralobar Pulmonary Sequestration	Int J Surg Pathol. 2016 Apr;24(2):130-4	Case Report
80	Sato S, Koike T, Hashimoto T, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Surgical outcome of lung cancer patients with combined pulmonary fibrosis and emphysema and those with idiopathic pulmonary fibrosis without emphysema	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2016 Aug 23;22(4):216-23	Others
81	Sato S, Kitahara A, Koike T, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Resection of a large ectopic parathyroid adenoma: a case report	Int J Surg Case Rep. 2016;23:8-11	Original Article
82	Sugimoto A, Takahashi M, Shiraishi S, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Pneumocephalus and subcutaneous scalp emphysema in a neonate on a low-flow nasal cannula	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2016 May;64(5):277-9	Case Report
83	Sugimoto A, Ota N, Sakamoto K	心臓血管外科/呼吸器外科	Pulmonary haemorrhage due to an aortopulmonary collateral artery after arterial switch	Cardiol Young. 2016 Mar;26(3):579-81	Case Report
84	Sugimoto A, Shiraishi S, Moon J, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Coronary Ostioplasty for Congenital Atresia of the Left Main Coronary Artery Ostium in a Teenage Boy	World J Pediatr Congenit Heart Surg. 2016 Nov;7(6):773-776	Case Report
85	Sugimoto A, Shiraishi S, Watanabe M, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Non-bacterial thrombotic endocarditis in the right atrium caused by pectus excavatum	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):105	Original Article
86	Nagasawa A, Koike T, Okamoto T, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Surgical Resection for Solitary Myocardial Metastasis of Gastric Cancer	Ann Thorac Surg. 2016 May;101(5):1978-80	Case Report
87	Sugimoto A, Ota N, Murata M, 他	心臓血管外科/呼吸器外科	Pulmonary root translocation for borderline complex coarctation of aorta and multiple ventricular septal defects	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2017 Jan;24(1):129-131	Case Report
88	Watanabe K, Hirano T, Katsumi K, 他	整形外科	Characteristics of spinopelvic alignment in Parkinson's disease: Comparison with adult spinal deformity.	J Orthop Sci. 2017 Jan;22(1):16-21	Others

小計13件

89	Kawashima H, Ariizumi T, Saijo Y, 他	整形外科	Chromosomal rearrangements in myoepithelial carcinoma of the breast that presented as metachronic double cancer with invasive ductal carcinoma in the ipsilateral breast.	Cancer Genet. 2016 Nov;209(11):501-505	Case Report
90	Kobayashi T, Kubota M, Arai Y, 他	小児外科	Staged laparotomies based on the damage control principle to treat hemodynamically unstable grade IV blunt hepatic injury in an eight-year-old girl.	Surg Case Rep. 2016 Dec;2(1):134	Original Article
91	Kurabe S, Okamoto K, Suzuki K, 他	脳神経外科	The Posterior Limb of the Internal Capsule as the Subcortical Transitional Zone of the Anterior and Posterior Circulations: Insights from Human 7T MRI.	Cerebrovasc Dis. 2016;41(5-6):256-64	Original Article
92	Suzuki T, Takao H, Suzuki T, 他	脳神経外科	Determining the Presence of Thin-Walled Regions at High-Pressure Areas in Unruptured Cerebral Aneurysms by Using Computational Fluid Dynamics.	Neurosurgery. 2016 Oct;79(4):589-95	Original Article
93	Nishino K, Hasegawa H, Morita K, 他	脳神経外科	Clinical characteristics of arteriovenous malformations in the cerebellopontine angle cistern.	J Neurosurg. 2017 Jan;126(1):60-68	Original Article
94	Tsukamoto Y, Ohtsu N, Echizenya S, 他	脳神経外科	Chemical Screening Identifies EUrD as a Novel Inhibitor Against Temozolomide-Resistant Glioblastoma-Initiating Cells.	Stem Cells. 2016 Aug;34(8):2016-25	Original Article
95	Takahashi H, Jimbo Y, Takano H, 他	脳神経外科	Intracerebral Hematoma Occurring During Warfarin Versus Non-Vitamin K Antagonist Oral Anticoagulant Therapy.	Am J Cardiol. 2016 Jul 15;118(2):222-5	Others
96	Yamanaka R, Morii K, Shinbo Y, 他	脳神経外科	Late relapse of primary central nervous system lymphoma.	Leuk Lymphoma. 2017 Feb;58(2):475-477	Original Article
97	Sato K, Fukuda M, Sato Y, 他	脳神経外科	Cortico-cortical evoked hemodynamic responses in human language systems using intraoperative near-infrared spectroscopy during direct cortical stimulation.	Neurosci Lett. 2016 Sep 6;630:136-40	Original Article
98	Yamanaka R, Morii K, Shinbo Y, 他	脳神経外科	Long-term survivors of primary central nervous system lymphoma.	Jpn J Clin Oncol. 2017 Feb 23;47(2):101-107	Original Article
99	Kojima S, Yoshimura J, MD, Takao T, 他	脳神経外科	Mobile spinal enterogenous cyst resulting in intermittent paraplegia in a child: case report.	J Neurosurg Pediatr. 2016 Oct;18(4):448-451	Case Report
100	Kahlert, UD, Mooney SM, Natsumeda M, 他	脳神経外科	Targeting cancer stem-like cells in glioblastoma and colorectal cancer through metabolic pathways.	Int J Cancer. 2017 Jan 1;140(1):10-22	Review
101	Hama N, Shimomura Y, Arinami H, 他	皮膚科	Localized heat urticaria: positive reaction of preheated autologous serum skin test	J Dermatol. 2016 Sep;43(9):1099-100	Case Report

小計13件



102	Hayashi R, Natsuga K, Watanabe M, 他	皮膚科	Epidermolysis Bullosa Acquisita Develops in Dominant Dystrophic Epidermolysis Bullosa	J Invest Dermatol. 2016 Jan;136(1):320-3	Letter
103	Y.Nakagawa, M.Ikeda, T.Ando, 他	泌尿器科	Re-evaluating Cut-off Points for the Expansion of Deceased Donor Criteria for Kidney Transplantation in Japan	Transplantation Proceedings 2017 Feb;49(1):10-15	Others
104	Ominato J, Fukuchi T, Sato A, 他	眼科	The Role of Mutation Rates of GNAQ or GNA11 in Cases of Uveal Melanoma in Japan.	Appl Immunohistochem Mol Morphol. 2017 Feb 28	Original Article
105	Murata N, Miyamoto D, Togano T, 他	眼科	Evaluating Silent Reading Performance with an Eye Tracking System in Patients with Glaucoma.	PLoS One. 2017 Jan 17;12(1):e0170230	Others
106	Baba H, Tsukano H, Hishida R, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Auditory cortical field coding long-lasting tonal offsets in mice.	Sci Rep. 2016 Sep 30;6:34421	Original Article
107	Horii A, Imai T, Kitahara T, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Psychiatric comorbidities and use of milnacipran in patients with chronic dizziness.	J Vestib Res. 2016 Jul 2;26(3):335-40	Original Article
108	Morita Y, Takahashi K, Izumi S, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Vestibular involvement in patients with otitis media with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.	Otol Neurotol. 2017 Jan;38(1):97-101	Original Article
109	Morita Y, Yamamoto Y, Oshima S, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Pediatric middle ear cholesteatoma - the comparative study of congenital cholesteatoma and acquired cholesteatoma.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2016 May;273(5):1155-60	Others
110	Nonaka T, Yoshida K, Yamaguchi M, 他	産科婦人科	Case with pyoderma gangrenosum abruptly emerging around the wound of cesarean section for placenta previa with placenta accrete.	6J Obstet Gynaecol Res. 2016 Sep;42(9):1190-3	Case Report
111	Watanabe T, Sekine M, Enomoto T, 他	麻酔科	The utility of anatomic diagnosis for identifying femoral nerve palsy following gynecologic surgery	J Anesth. 2016 Apr;30(2):317-9	Case Report
112	Kurabe M, Furue H, Kohno T	麻酔科	Intravenous administration of lidocaine directly acts on spinal dorsal horn and produces analgesic effect: An in vivo patch-clamp analysis	Sci Rep. 2016 May 18;6:26253	Original Article
113	Kurabe M, Watanabe T, Kohno T	麻酔科	Perforation of the superior vena cava 5 days after insertion of a central venous catheter through the left internal jugular vein	J Clin Anesth. 2016 Jun;31:193-6	Case Report
114	Baba H, Petrenko AB, Fujiwara N	麻酔科	Clinically relevant concentration of pregabalin has no acute inhibitory effect on excitation of dorsal horn neurons under normal or neuropathic pain conditions: An intracellular calcium-imaging study in spinal cord slices from adult rats	Brain Res. 2016 Oct 1;1648(Pt A):445-58	Original Article

小計13件

115	Ohashi N, Ohashi M, Endo N, 他	麻醉科	Administration of tranexamic acid to patients undergoing surgery for adolescent idiopathic scoliosis evokes pain and increases the infusion rate of remifentanyl during the surgery	PLoS One. 2017 Mar 10;12(3):e0173622	Others
116	Maruyama K, Tsuji H, Nomiya T, 他	放射線治療科	Five-year quality of life assessment after carbon ion radiotherapy for prostate cancer.	J Radiat Res. 2017 Mar 1;58(2):260-266	Original Article
117	Ohta A, Kaidu M, Tanabe S, 他	放射線治療科	Respiratory gating and multifield technique radiotherapy for esophageal cancer.	Jpn J Radiol. 2017 Mar;35(3):95-100	Original Article
118	Saito H, Nakano T, Shioi M, 他	放射線治療科	Toward the clarification of the role of whole-brain radiation therapy for brain metastases from non-small cell lung cancer: a comment about the QUARTZ trial.	Transl Cancer Res 2016 Dec;5(7):1465-1468	Others
119	Saito H, Tanaka K, Kanemoto A, 他	放射線治療科	Factors Affecting the Baseline and Post-Treatment Scores on the Hopkins Verbal Learning Test-Revised Japanese Version before and after Whole-Brain Radiation Therapy.	Int J Mol Sci. 2016 Nov 3;17(11). pii: E1834	Original Article
120	Saito D, Mikami T, Oda Y, 他	口腔再建外科	Relationships among maxillofacial morphologies, bone properties, and bone metabolic markers in patients with jaw deformities.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2016 Aug;45(8):985-91	Original Article
121	Uenoyama A, Kakizaki I, Shiomi A, 他	口腔再建外科	Effects of C-xylopyranoside derivative on epithelial regeneration in an in vitro 3D oral mucosa model.	Biosci Biotechnol Biochem. 2016 Jul;80(7):1344-55	Original Article
122	Kurabe K, Kojima T, Kato Y, 他	口腔再建外科	Impact of orthognathic surgery on oral health-related quality of life in patients with jaw deformities.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2016 Dec;45(12):1513-1519	Original Article
123	Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, 他	顎顔面口腔外科	Spatio-temporal expression of Sox genes in murine palatogenesis.	Gene Expr Patterns. 2016 Jul;21(2):111-8	Original Article
124	Katsura K, Soga M, Abe E, 他	歯科放射線科	Effects of casein phosphopeptide-amorphous calcium phosphate with sodium fluoride on root surface conditions in head and neck radiotherapy patients.	Oral Radiology 2016 May;32:105-110.	Original Article
125	Katsura K, Utsunomiya S, Abe E, 他	歯科放射線科	A study on a dental device for the prevention of mucosal dose enhancement caused by backscatter radiation from dental alloy during external beam radiotherapy.	J Radiat Res. 2016 Nov;57(6):709-713	Original Article
126	Kasahara N, Tanaka R, Hayashi T, 他	歯科放射線科	The relationship between a maxillary sinus and superior alveolar nerves and vessels demonstrated by cone-beam CT combined with m-CT and histological analyses.	Anat Rec (Hoboken). 2016 May;299(5):669-78	Original Article
127	Hayashi-Sakai S, Hayashi T, Sakamoto M, 他	歯科放射線科	Nondestructive microcomputed tomography evaluation of mineral density in exfoliated teeth with hypophosphatasia.	Case Rep Dent. 2016;2016:4898456	Original Article

小計13件

128	Terumitsu M, Matsuzawa H, Seo K, 他	歯科麻酔科	High-contrast high-resolution imaging of posttraumatic mandibular nerve by 3DAC-PROPELLER magnetic resonance imaging: correlation with the severity of sensory disturbance.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2017 Jul;124(1):85-94	Original Article
129	Ida-Yonemochi H, Yamada Y, Yoshikawa H, 他	歯科麻酔科	Locally Produced BDNF Promotes Sclerotic Change in Alveolar Bone after Nerve Injury.	PLoS One. 2017 Jan 10;12(1):e0169201	Original Article
130	Seo K, Terumitsu M, Inada Y, 他	歯科麻酔科	Prognosis After Surgical Treatment of Trigeminal Neuropathy with a PGA-c Tube: Report of 10 Cases.	Pain Med. 2016 Dec;17(12):2360-2368	Original Article
131	Yoshikawa H, Yamada Y, Kurose M, 他	歯科麻酔科	Peripheral Brain-Derived Neurotrophic Factor Modulates Regeneration Following Inferior Alveolar Nerve Injury in Rats.	J Oral Facial Pain Headache. 2016 Fall;30(4):346-354	Original Article
132	Saitoh I, Sato M, Soda M, 他	小児歯科・障がい者歯科	Tissue-specific stem cells obtained by reprogramming of non-obese diabetic (NOD) mouse-derived pancreatic cells confer insulin production in response to glucose	PLoS One. 2016 Sep 23;11(9):e0163580	Original Article
133	Otake M, Kurose M, Uchida Y, 他	矯正歯科	The interactions between different tastes on initiation of reflex swallow elicited by electrical stimulation in human.	Odontology. 2016 Sep;104(3):282-90	Original Article
134	Sakaue K, Fukui T, Sasakura C, 他	矯正歯科	Tongue pressure production during swallowing in patients with mandibular prognathism.	J Oral Rehabil. 2016 May;43(5):348-55	Others
135	Fukui T, Kano H, Saito I	矯正歯科	Nonsurgical treatment of adult with an open bite and large lower anterior facial height with the edgewise appliance and temporary anchorage devices.	Am J Orthod Dentofacial Orthop. 2016 Jun;149(6):889-98	Case Report
136	Sato M, Iwasaki M, Yoshihara A, 他	予防歯科	Association between periodontitis and medical expenditure in elderly people: a 33-month follow-up study.	Geriatr Gerontol Int. 2016 Jul;16(7):856-64	Original Article
137	Yoshihara A, Sugita N, Iwasaki M, 他	予防歯科	Bidirectional relationship between renal function and periodontal disease in older Japanese women.	J Clin Periodontol. 2016 Sep;43(9):720-6	Original Article
138	Kobayashi T, Ito S, Kobayashi D, 他	歯周病科	Serum Immunoglobulin G Levels to Porphyromonas gingivalis Peptidylarginine Deiminase Affect Clinical Response to Biological Disease-Modifying Antirheumatic Drug in Rheumatoid Arthritis.	PLoS One. 2016 Apr 25;11(4):e0154182	Others
139	Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, 他	歯周病科	Neuronal TRPV1 activation regulates alveolar bone resorption by suppressing osteoclastogenesis via CGRP.	Sci Rep. 2016 Jul 8;6:29294	Original Article
140	Kobayashi T, Ishida K, Yoshie H	歯周病科	Increased expression of interleukin-6 (IL-6) gene transcript in relation to IL-6 promoter hypomethylation in gingival tissue from patients with chronic periodontitis.	Arch Oral Biol. 2016 Sep;69:89-94	Original Article

小計13件

141	Morozumi T, Nakagawa T, Nomura Y, 他	歯周病科	Salivary pathogen and serum antibody to assess the progression of chronic periodontitis: a 24-month prospective multicenter cohort study.	J Periodontal Res. 2016 Dec;51(6):768-778	Original Article
142	Kaku M	冠・ブリッジ診療科	Prosthodontics: A multidisciplinary field in dentistry.	J Prosthodont Res. 2016 Jul;60(3):143-4	Others
143	Kitami M, Kaku M, Rocabado JM, 他	冠・ブリッジ診療科	Prolonged Survival of Transplanted Osteoblastic Cells Does Not Directly Accelerate the Healing of Calvarial Bone Defects.	J Cell Physiol. 2016 Sep;231(9):1974-82	Original Article
144	Kaku M, Rosales Rocabado JM, Kitami M, 他	冠・ブリッジ診療科	Mechanical Loading Stimulates Expression of Collagen Cross-Linking Associated Enzymes in Periodontal Ligament.	J Cell Physiol. 2016 Apr;231(4):926-33	Original Article
145	Takano R, Nagasawa M, Kitami M, 他	冠・ブリッジ診療科	Correlation Between Stress Distributions and Biological Reactions in Bone Surrounding Implants That Support Cantilevers in Supraocclusal Contact in Rats.	Implant Dent. 2016 Apr;25(2):204-13	Others
146	Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, 他	冠・ブリッジ診療科	Biological Evaluation of Implant Drill Made from Zirconium Dioxide.	Clin Implant Dent Relat Res. 2017 Apr;19(2):306-315	Original Article
147	Hasegawa Y, Tachibana Y, Ono T, 他	義歯診療科	Flavour-enhanced cortisol release during gum chewing.	PLoS One. 2017 Apr 5;12(4)	Others
148	Kojima A, Kobayashi T, Ito S, 他	歯科総合診療部	Tumor necrosis factor-alpha gene promoter methylation in Japanese adults with chronic periodontitis and rheumatoid arthritis.	J Periodontal Res. 2016 Jun;51(3):350-8	Original Article
149	Takashima M, Arai Y, Kawamura A, 他	顎関節治療部	Quantitative evaluation of masseter muscle stiffness in patients with temporomandibular disorders using shear wave elastography.	J Prosthodont Res. 2017 Feb 7. pii: S1883-1958(17)30012-9	Original Article

小計9件  
計149件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	五十嵐 俊三, 土屋 淳紀, 中野 広央樹, 他	消化器内科/肝 胆膵内科	自然経過で縮小した多臓器(肝、肺、腎)炎症性 偽腫瘍の1例	肝臓 2016.06 57(6):287-294	Case Report
2	下畑享良、饗場郁 子、西澤正豊	神経内科	大脳皮質基底核症候群と大脳皮質基底核変性 症の診断	臨床神経学 2016.03 56:1-9,	Review
3	坪口晋太郎、矢島隆 二、樋口陽、他	神経内科	緩徐進行性の経過を辿り腫瘍治療と免疫療法 が有効であったYo抗体陽性傍腫瘍性小脳変性 症の1例	臨床神経学 2016.07 28:56(7):477-80,	Case Report
4	河内泉、西澤正豊	神経内科	神経内科疾患(肥厚性硬膜炎など)	診断と治療 2016.04 104(4):425-31,	Others
5	金澤雅人、川村邦 雄、高橋哲哉、他	神経内科	【脳卒中-新時代の治療を求めて-】 進歩する基 礎研究 Progranulin	日本臨牀 2016.04 74(4):579-82,	Others
6	河内泉	神経内科	中枢神経系炎症性脱髄疾患における自己免疫 現象とミトコンドリア動態異常を伴う神経変性	Medical Science Digest 2016.07 42(8):357-9,	Others
7	下畑享良、西澤正豊	神経内科	< I . パーキンソニズムと睡眠>多系統萎縮症と 睡眠障害	睡眠医療 2016.07 10(2):187-91,	Others
8	徳武孝允、春日健 作、原範和、他	神経内科	アポリポ蛋白E遺伝子(APOE)	BRAIN and NERVE 2016.07 68(7):703-12,	Review
9	下畑享良、西澤正豊	神経内科	標準的神経治療:不眠・過眠と概日リズム障害 V 変性疾患と睡眠 V-2多系統萎縮症睡眠 異常	神経治療学 2016.07 33(4):600-4,	Others
10	土田 正則	心臓血管外科/ 呼吸器外科	まい・てくにつく 大動脈との癒着剥離のポイント どこまでいけるか(図説)	胸部外科 2016.06 69(6):417,	Others
11	高橋 昌	心臓血管外科/ 呼吸器外科	東北がんプロ 東日本大震災から学ぶ これか らの災害医療教育	震災時のがん医 療<報告書> 2016 pp.164- 172, 東北がんブ ロフェッショナル養 成推進プラン事務 局	Others
12	榛沢 和彦	心臓血管外科/ 呼吸器外科	わが国と欧米の避難所の違いは?	治療2016.11 98(11): 1809-12,	Others
13	榛沢 和彦	心臓血管外科/ 呼吸器外科	医療支援者からみた過去の大震災との違い は?	治療2016.11 98(11): 1813-14, 2016	Others
14	小池 輝元	心臓血管外科/ 呼吸器外科	肺癌外科治療の進歩	新潟医学会雑誌 2016.12 130(12):675-678,	Others
15	佐藤征二郎, 市川 寛, 島田 能史, 他	心臓血管外科/ 呼吸器外科	ホルマリン固定後パラフィン包埋肺腺癌検体か らのDNA抽出濃度について:次世代シーケン サーによる網羅的遺伝子解析のために	新潟医学会雑誌 2016.10 130(10):601-611,	Original Article

小計15件

16	北原 哲彦, 佐藤征二郎, 小池 輝元, 他	心臓血管外科/ 呼吸器外科	肺移植後遠隔期発症のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫に併発した致死的呼吸不全	胸部外科 2016.10 69 (11):941-945,	Case Report
17	青木 賢治, 岡本 竹司, 佐藤 裕喜, 他	心臓血管外科/ 呼吸器外科	逆行性Stanford A型急性大動脈解離に対する胸部ステントグラフト内挿術の治療成績	胸部外科 2016.04 69(4):276-281	Original Article
18	青木 賢治	心臓血管外科/ 呼吸器外科	冠動脈疾患の診断と治療 冠動脈バイパス術の現状と課題(解説)	新潟医学会雑誌 2016.04 130(4):225-230,	Others
19	渡辺 慶, 菊地 廉, 田仕英希	整形外科	脊椎外傷の治療 強直性脊椎症に伴う脊椎骨折	整形外科 2016.07 67(8): 807-813,	Others
20	渡辺 慶, 森田 修, 佐藤 剛, 他	整形外科	腰椎変性すべり症に対し, 固定術は必要か?: 除圧術と除圧固定術の治療成績の比較	東北整形災害外 科学会雑誌 2016.06 59(1):33 -38	Original Article
21	近藤直樹, 藤澤純一, 遠藤直人	整形外科	中足趾節関節側方動揺性を生じた外反母趾に対する長母趾伸筋腱を用いた制動術の治療経験	別冊整形外科 2016.04 69:46- 48,	Case Report
22	近藤直樹, 藤澤純一, 荒井勝光, 他	整形外科	関節リウマチ患者の高度肩関節破壊に対する人工骨頭置換術の短期成績	新潟整形外科研 究会誌 2016 32:93-96	Others
23	渡邊 潤, 岡本 浩一郎, 大石 誠, 他	脳神経外科	慢性硬膜下血腫と鑑別を要する疾患.	脳神経外科速報 2016.11 Vol26: 1186-1191,	Others
24	吉村淳一, 青木 洋, 米岡有一郎, 他	脳神経外科	先天性脳腫瘍の生命予後と精神発達の予後について: 自験例と文献的考察からの今後の展望.	小児の脳神経 2016.12 41(4):1- 6,	Others
25	濱 菜摘, 藤原 浩, 阿部理一郎, 他	皮膚科	Bowen癌を発症したBowen様丘疹症の1例.	臨床皮膚科 2016.10 70(11):887-91	Case Report
26	齋藤 和英	泌尿器科	腎移植におけるサイトメガロウイルス感染症 - Ganciclovir 耐性株の検出とProphylaxis を中心に -	日本臨床腎移植 学会雑誌 2016.12 4-2: 290-300,	Others
27	山名 一寿, 富田 善彦	泌尿器科	免疫チェックポイント阻害薬の実際 - 有害事象対策を中心に -	泌尿器外科 2017.01 30(1): 21-26,	Others
28	富田 善彦	泌尿器科	今後の展望	泌尿器外科 2017.01 30(1): 27-28, 2017	Others
29	宮本 大輝, 坂上 悠太, 梅野 哲哉, 他	眼科	マイクロチューブシャント(エクスプレス)を用いた濾過手術後の角膜内皮細胞変化	あたらしい眼科 2016.11 33(1):1645-1650,	Original Article
30	松田 英伸, 酒井 康弘, 上田 恵理子, 他	眼科	内眼炎所見を合併した多発性後極部網膜色素上皮症(MPPE)の1例	臨床眼科 2016.05 70(5):681-687,	Case Report
31	松山 洋, 佐藤雄一郎, 富田雅彦, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	新潟県における頭頸部癌CCRTのレジメン統一への動き-高用量CCDP+RT-	頭頸部癌 2016.04 42: 70- 75,	Original Article
32	茅原 誠, 柴岡 絵理, 五十嵐 愛, 他	産科婦人科	当科における低刺激採卵の有用性に関する検討	新潟産科婦人科 学会会誌 2016.07 111(1), 22-25,	Original Article

小計17件

33	西川 伸道, 工藤 梨沙, 茅原 誠, 他	産科婦人科	婦人科悪性腫瘍手術の周術期予防的抗菌薬投与について	新潟産科婦人科学会誌 2016.07 111(1), 26-28,	Original Article
34	小林正治	口腔再建外科	顎矯正手術の周術期管理	日口腔外会誌 2016.11 62(11): 554-560頁,	Others
35	加藤祐介, 三上俊彦, 船山昭典, 他	口腔再建外科	著しい開口障害をきたした両側筋突起過形成症の1例	日顎変形会誌 2016.08 26(3): 214-219頁,	Case Report
36	長谷部大地, 須田大亮, 浅井佑介, 他	口腔再建外科	新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野における48年間の顎矯正手術の臨床的検討	日顎変形会誌 2017.01 26(4): 266-274頁,	Original Article
37	小林正治	口腔再建外科	外科的矯正治療が顎変形症患者のquality of lifeに及ぼす影響	新潟歯会誌 2016.12 46(2): 57-68頁,	Review
38	船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 他	口腔再建外科	下顎歯肉扁平上皮癌の臨床的検討	新潟歯会誌 2016.12 46(2): 77-82頁,	Original Article
39	船山昭典, 三上俊彦, 長谷部大地, 他	口腔再建外科	ツキノワグマによる下顎骨粉碎骨折の1例	口腔顎顔面外傷 2016.12 15: 32- 37頁,	Case Report
40	齋藤太郎, 笠井直栄, 高木律男	顎顔面口腔外科	下顎歯肉に発症したメトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例.	日口内誌 2016.06 22(1): 24-28,	Case Report
41	西川 敦, 児玉泰光, 永井孝宏, 他	顎顔面口腔外科	小児口腔外科手術における予防的抗菌薬適正使用への取り組み ～手術部位感染と抗菌薬関連下痢症を用いた検討～.	小児口外 2016.06 26(1): 3-8,	Original Article
42	大湊 麗, 小林孝憲, 児玉泰光, 他	顎顔面口腔外科	粘膜下口蓋裂の臨床統計的検討 第1報: 診断と病態.	日口蓋誌 2016.04 41(1): 24-30,	Original Article
43	大湊 麗, 小林孝憲, 児玉泰光, 他	顎顔面口腔外科	粘膜下口蓋裂の臨床統計的検討 第2報: 言語成績.	日口蓋誌 2016.10 41(3): 173-180,	Original Article
44	大貫尚志, 児玉泰光, 北村 厚, 他	顎顔面口腔外科	過去10年間に於ける顎顔面骨骨折の臨床的検討～高次救命災害治療センター開設前後での比較～.	日口外傷誌 2016.12 15(1, 2):1-6,	Original Article
45	池田順行, 小原彰浩, 弦巻 立, 他	顎顔面口腔外科	顎矯正手術を行った筋緊張性ジストロフィーに伴う顎変形症の1例.	日口外誌 2016.12 62(12): 612-617,	Case Report
46	永井孝宏, 児玉泰光, 黒川 亮, 他	顎顔面口腔外科	HIV感染者における歯科観血的処置の臨床的検討.	新潟歯学会誌 2016.12 46(2): 13-19,	Original Article
47	渡部桃子, 池田順行, 西山秀昌, 他	顎顔面口腔外科	側頭部蜂窩織炎後の瘢痕形成により開口障害が持続した1例.	新潟歯学会誌 2016.12 46(2): 33-38,	Case Report
48	中山美和, 高田頌子, 木瀬祥貴, 他	歯科放射線科	本学放射線・画像診断科における歯科医師臨床研修ー口内法撮影技術の評価と研修に対するアンケート調査ー.	日歯教誌, 2016.04 32(1): 3-10	Original Article
49	坂井幸子, 坂本信, 林 孝文, 他	歯科放射線科	マイクロCTによる脱落歯のミネラル密度評価ー低フォスファターゼ症例への応用ー.	実験力学, 2016.07 16(2): 122-126	Original Article

小計17件

50	曾我麻里恵, 後藤早苗, 田中恵子, 他	歯科放射線科	造血幹細胞移植治療に伴う口腔粘膜炎に対するSystematic Oral Managementの有効性の後ろ向き研究.	日本口腔ケア学会雑誌 2016.06;11:8-11	Original Article
51	堀内 悟, 小林太一, 池 真樹子, 他	歯科放射線科	超音波による舌骨の下顎頭との同時動態評価法の試みー睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置の効果判定を目指してー.	歯科放射線 2017.03;56(2):64-69	Original Article
52	倉田 行伸, 田中裕, 弦巻 立, 他	歯科麻酔科	当院における障害者(児)の歯科治療に対する静脈内鎮静法と日帰り全身麻酔の選択の傾向	障害者歯科 2017.02 38(1):74-79,	Original Article
53	小林哲夫, 伊藤 聡, 島田惇史, 他	歯周病科	関節リウマチ患者の活動度に及ぼす歯周炎併発の影響	日本歯科保存学雑誌 2016.06 59(3): 266-272,	Original Article
54	両角俊哉, 中川種昭, 野村義明, 他	歯周病科	歯周炎進行を唾液中細菌検査と血清抗体価検査から予知する～SPT期治癒判定プロジェクト最終報告書～.	日本歯周病学会会誌 2017.01 58(4): 254-258,	Others
55	荒井良明	顎関節治療部	下顎臼歯部 2 歯中間欠損に対してインプラント補綴治療を行った症例	日本口腔インプラント学会誌 2016.12 29(4) E337,	Case Report
56	稲野辺紫巳, 荒井良明, 高嶋真樹子, 他	顎関節治療部	歯科衛生士による咀嚼筋痛障害患者に対する行動変容法の効果.	日本顎関節学会雑誌 2016.08 28(2):25-33	Original Article

小計7件  
計56件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。



(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 研究等倫理審査委員会に関する標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 産学官連携活動を含む社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の産学官連携活動等の推進を図る。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の一部改正を中心とした研修会を2回、ヒトゲノム・遺伝子解析研究においては、個人情報保護改正による遺伝情報の取り扱いについて1回の研修を行った。 外部から講師を招へいし、院内職員を対象に、再生医療に関する題目等の講演会を3回実施した。	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の関連医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、関連医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	79人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
南野 徹	循環器内科	教授	27年	
曾根博仁	内分泌・代謝内科	教授	26年	
	血液内科		年	
成田一衛	腎・膠原病内科	教授	33年	
菊池利明	呼吸器・感染症内科		26年	
	心療内科		年	
寺井崇二	消化器内科		26年	
	肝胆膵内科		年	
小野寺 理	神経内科	教授	29年	
西條康夫	腫瘍内科	教授	32年	
染矢俊幸	精神科	教授	33年	
齋藤昭彦	小児科	教授	25年	
若井俊文	消化器外科	教授	24年	
	乳腺・内分泌外科		年	
土田正則	心臓血管外科	教授	31年	
	呼吸器外科		年	
遠藤直人	整形外科	教授	36年	
松田 健	形成・美容外科	教授	20年	
窪田正幸	小児外科	教授	37年	
藤井幸彦	脳神経外科	教授	33年	
阿部理一郎	皮膚科	教授	22年	
富田善彦	泌尿器科	教授	31年	
福地健郎	眼科	教授	31年	

堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	27年
榎本隆之	産科婦人科	教授	33年
青山英史	放射線治療科	教授	22年
	放射線診断科		
馬場 洋	麻酔科	教授	28年
遠藤 裕	高次救命災害治療センター	教授	37年
木村慎二	総合リハビリテーション	准教授	29年
味岡洋一	病理部	教授	32年
長谷川隆志	医科総合診療部	准教授	31年
藤井規孝	歯科総合診療部	教授	23年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添1「平成28年度キャリア開発支援研修計画」を参照（対象研修：専門領域シリーズ等）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添1「平成28年度キャリア開発支援研修計画」を参照（対象研修：基礎研修及び役割研修等）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添2「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」を参照

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## 平成28年度キャリア開発支援研修計画

研修名	受講対象者	講師・研修担当	開催年月日	受講者数	
新採用者オリエンテーション		看護部	4/1(金)	74名	
労働安全衛生教育		健康管理センター産業医	4/4(月)	74名	
基礎研修	感染管理 1	感染管理認定看護師	4/4(月)	74名	
	安全管理 1	安全管理部GRM 看護安全管理委員会	4/4(月)	74名	
	看護記録 1	看護情報委員会	4/6(水)	74名	
	接遇 (院内研修)	外部講師	4/7(木)	74名	
	口腔ケア 1	外来4・5階看護師	5/11(水)	74名	
	褥瘡ケア 1・2	皮膚・排泄ケア認定看護師 看護部褥瘡対策チーム	①5/11(水)②7/5~8	①74名②74名	
	コミュニケーション1・2	看護部教育委員会	①7/2(土)・②10/7(金)or10/21(金)	①96名②69名	
	臨床技術トレーニングプログラム ステップI~III	看護職キャリア開発コアセンター	I:4月 II:6月 III:11月	I 71名 II 71名 III 69名	
	臨床実践能力セルフ・モニタリング プログラム(SMP)3か月・6か月		3か月:7月 6か月:11月	3か月:71名 6か月:69名	
	看護記録 2	看護情報委員会	7/2(土)	69名	
	救急医療	BLS院内研修担当者・ 看護職キャリア開発コアセンター	6/16(木)・6/30(木)・7/14(木)・7/21(木)	69名	
	フィジカルアセスメント	看護部教育委員会			
	急変時の看護	集中ケア認定看護師 新人担当専任看護師	2年目対象:2/1(水)or2/8(水) 3.5時間	61名	
	安全管理 2	看護安全管理委員会	8/16or8/30	70名	
	感染管理 2	感染管理認定看護師	年に1回予定 10/22(土)	70名	
事例検討	看護研究支援委員会	①6/25(土) ②10/22(土)	①70名 ②69名		
リーダーシップ(基礎編)	レベルII	看護部教育委員会	同じ内容で年間2回開催 ①7/12(火)or②1/16(月)	①39名 ②15名	
リーダーシップ(実践編)	レベルIII	看護部教育委員会	オリ5/18(水)実践報告書提出・2/24(金)報告会	オリ22名 報告会22名	
プリセプターシップ(基礎編)	2年目	外部講師・看護部教育委員会	同じ内容で年間2回開催 ①2/6(月)or ②2/15(水)	①30名 ②36名	
プリセプターシップ(実践編)	レベルII	看護部教育委員会	年に2回開催 ①6/2(木)or6/6(月)②12/1(木)or12/9(金)	①56名 ②50名	
組織管理	レベルIII	板垣	11/18(金)	23名	
キャリアデザイン	レベルII~レベルIV	外部講師	レベルII~III対象 10/29(土)、11/12(土) レベルIV対象 12/3(土)	レベルII 64名 レベルIII 30名 レベルIV 9名	
看護管理	看護師長 副看護師長	外部講師	10/2(土)	89名	
看護管理	看護師長	看護師長4名	7/26(火)	31名	
看護管理	副看護師長	外部講師	①7/4(月)5年未満看護師長対象 ②11/6(日)全看護師長対象	①8名 ②30名	
看護管理	副看護師長	外部講師	11/27(日)5年未満副看護師長対象	19名	
教育担当者研修	教育担当者 (スタッフ)	外部講師・看護部教育委員会	①3/16(水)②6/9(木)③11/7(月)	①28名 ②27名 ③28名	
2年目サポーター研修	2年目サポーター	看護部教育委員会	①3月オリエンテーション実施 ②9/27(火)	①30名 ②28名	
看護記録	看護情報係	看護情報委員会	①6/10(金)②10/11(火)	①40名 ②40名	
栄養サポート	NST担当者	看護部NST	①5/31(火)②11/29(火)	①20名 ②20名	
感染管理	ICM	看護感染管理委員会	①5/17(火)②10/11(火)③2/14(火)	①30名 ②30名 ③30名	
安全管理	安全管理担当者	看護安全管理委員会	①5/24(火)②11/1(火)	①29名 ②29名	
退院支援	退院支援担当者	看護部地域保健医療推進部会	①5/16(月)②10/17(月)	①24名 ②24名	
実習指導	実習指導者 (スタッフ)	看護部臨床実習委員会	①6/7(月)②12/6(火)	①29名 ②25名	
専門領域・テーマ別研修	院内認定看護師コース 感染管理	レベルIII以上	感染管理認定看護師 看護部長・副看護部長	シリーズ10回 ①5/18or6/15②6/22 ③7/20④8/17⑤9/21 ⑥10/5⑦10/17⑧11/2⑨12/14⑩H29-1/31	シリーズ10回 4名
	院内認定看護師コース スキンケア	レベルIII以上	皮膚・排泄ケア認定看護師 看護部長・副看護部長	シリーズ10回 ①6/28②7/26③8/23④9/21⑤9/27 ⑥10/17⑦10/25⑧11/2⑨11/22⑩H29-1/31	シリーズ10回 2名
	感染管理	レベルIII以上	感染管理認定看護師 他	シリーズ10回 ①5/17②6/7③7/5④8/2⑤9/6 ⑥10/4 ⑦11/1⑧12/6⑨H29.1/17⑩2/7	シリーズ10回 11名
	スキンケア	レベルIII以上	皮膚・排泄ケア認定看護師 他	シリーズ8回 ①6/14②7/12③8/18④9/13⑤10/11 ⑥11/8⑦12/13⑧H29.1/10	シリーズ8回 29名
	呼吸ケア	レベルIII以上	集中ケア・慢性呼吸器疾患看護認定看護師 他	シリーズ7回 ①6/9②7/12③8/18④9/8⑤10/13 ⑥11/10 ⑦12/8	シリーズ7回 12名
	がん化学療法看護	レベルIII以上	がん化学療法看護認定看護師 他	シリーズ9回 ①6/8②7/13③8/10④9/14⑤10/12 ⑥11/9⑦12/14⑧H29.1/11⑨2/8	シリーズ9回 17名
	糖尿病ケア-基礎コース-	レベルII以上	院内糖尿病療養指導士の会メンバー 慢性疾患看護専門看護師 他	シリーズ7回 ①6/1 ②7/6③8/3④9/7⑤10/5 ⑥11/2⑦12/7	シリーズ7回 31名
	緩和ケア	レベルII以上	緩和ケア認定看護師	シリーズ10回 ①5/25②6/22③7/27④8/24⑤9/28 ⑥10/26⑦11/30⑧12/28⑨H28.1/25⑩2/22	シリーズ10回 23名
	マネジメント研修	レベルIV以上	組織文化と組織倫理:看護部長 人的資源管理:副看護部長 看護におけるマネジメント:副看護部長	①7/22(金)②7/29(金)③8/10(水)	①35名 ②41名 ③39名
	看護研究	希望者	看護研究支援委員会	発表会①11/11(金)②11/25(金)③12/2(金)	①241名 ②208名 ③212名
			看護研究支援委員会	説明会・倫理研修3/13(月)	24名
			看護研究支援委員会 旭町図書館職員	文献検索:6/23(木)	14名
	看護倫理	希望者	新潟大学医学部保健学科 宮坂道夫先生	6/29(水)	124名
	看護倫理	レベルI	看護部教育委員会	①10/19(水)②10/28(金)	①34名 ②31名
	看護倫理	レベルIII	看護部教育委員会	①11/4(金)②11/9(水)	①22名 ②22名
シミュレーション教育	レベルIII相当	看護部シミュレーションプログラム委員会	①10/21(金)②11/7(月)	①4名 ②13名	
リフレクション養成研修	副看護師長	看護部シミュレーションプログラム委員会	①9/16(金)②2/17(金)	①12名 ②9名	
褥瘡ケア	希望者	皮膚・排泄ケア認定看護師 看護部褥瘡対策チーム	①7/14(木)②11/17(木)	①77名 ②37名	
ストーマケア	希望者	ストーマケア担当看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師	①5/12(木)②6/2(木)③7/28(木)	①43名 ②31名 ③16名	
認知症看護(認知症・譫妄について)→変更 「CVPPPを活用したコミュニケーション」	希望者	精神科認定看護師-CVPPP トレーナー	H29-3/3(金)	39名	
口腔ケア	希望者	外来4・5階歯科外来看護師	11/18(金)	17名	
糖尿病療養指導	希望者	院内糖尿病療養指導士の会	10/5(水)	34名	
呼吸ケア	希望者	呼吸療法認定士の会	①6/16(木)②7/19(火)③8/25(金)④9/15(金)	①114名 ②49名 ③31名 ④42名	
手術体位について	新人~3年目	手術部看護師	H29-3/13(月)	8名	
専門領域最新情報 (up to-date)	入職5年以上相当	各専門領域 認定看護師・専門看護師	①7/15(金)②9/16(金)③11/30(水)	①35名 ②21名 ③19名	
院外研修報告会	希望者	看護部教育委員会	①7/21(木)②12/9(金)③1/25(水) ④2/22(水)⑤3/3(金)	①52名 ②38名 ③42名 ④32名 ⑤43名	
看護補助者	基礎技術研修	新採用看護補助者	看護部管理室他	随時	4名
	看護実践に必要な知識・技術 -コミュニケーション研修-	全看護補助者	看護職キャリア開発コアセンター	3/27(月)or28(火)	20名
	感染対策II	全看護補助者	感染管理認定看護師	2/21(火)	20名

平成28年度 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

研修名	人数
外部ファシリテーター養成研修STEP1・1日 ①平成28年 5月14日(土) ②平成28年11月19日(土)	21
外部ファシリテーター養成研修STEP2・1日 ①平成28年 8月27日(土) ②平成29年 1月28日(土)	16
外部ファシリテーター養成研修STEP3・1日 平成29年 3月4日(土)	8
褥瘡シミュレーション・3時間 ①平成28年 8月31日(水) ②平成28年11月4日(金)	19
基礎看護技術・1日 平成28年4月12日(火)	1
臨床技術トレーニング・3時間 ①平成28年4月26日(火) ②平成28年5月30日(月)	2
講演会 看護管理研修 平成28年10月2日(日)	145
利用者合計	212

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木榮一	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 藤江 進	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室, 画像診断支援室, 電算機室	※外来, 入院とも電子媒体 (一部紙媒体)  ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており, やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療保健推進部	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門			



		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 鈴木榮一		
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 江口正樹		
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室		
閲覧の手続の概要			
様式第5の保管場所・管理方法による。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯 科 医 師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1 安全管理に関する基本的な考え方</li><li>2 安全管理のための委員会その他の組織に関する基本的事項</li><li>3 安全管理のための職員研修に関する基本方針</li><li>4 インシデント・アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>5 アクシデント等発生時の対応に関する基本方針</li><li>6 職員と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>7 患者からの相談への対応に関する基本方針</li><li>8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol></li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設置の有無 ( (有)・無 )</li><li>・ 開催状況：年 12回</li><li>・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1 アクシデントの発生防止対策に関すること</li><li>2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関すること</li><li>3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関すること</li><li>4 その他医療安全の推進に関すること</li></ol></li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1 「本院に課せられた新たな医療安全管理上の義務について」</li><li>2 「医療事故調査制度～施行から8か月を経過して～」</li><li>3 「院内暴力対応訓練」「職員の暴力回避トレーニング」</li><li>4 「」</li></ol></li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( (有)・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集</li><li>・ 医療安全対策の取り組みの評価、インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討</li><li>・ インシデント及びアクシデント事例の医療安全推進委員会での報告、改善策の立案と実施、改善状況の検証</li><li>・ 重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備</li><li>・ 院内で発生した死亡・死産事例(入院・外来)の全例チェックおよび検討</li><li>・ 医療事例審議委員会、(調査専門委員会)における事例分析、再発防止の検討、他</li></ul></li></ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染に関する基本的な考え方</li><li>2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項</li><li>3. 院内感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>6. 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針</li><li>7. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針</li></ol></li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関すること</li><li>・ 院内感染の予防対策に関すること</li><li>・ 院内感染発生時の対応及び改善策に関すること</li><li>・ 院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関すること</li><li>・ 院内感染対策に係る教育及び研修に関すること</li><li>・ 院内感染対策の実施状況の評価に関すること</li><li>・ その他院内感染対策に関すること</li></ul></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1 「当院での感染症治療の現状と今後の取り組みについて/薬剤耐性菌の検出状況/抗MRSA薬のTDM状況とワンポイント/歯科用ユニット周りの感染対策/入院患者向け手指衛生啓発DVDについて」</li><li>2 「グローバル時代の感染症とその対策 ～いま、そこにある危機～」</li></ol></li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( (有)・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 耐性菌, 人工呼吸器関連肺炎, 中心ライン関連ライン血流感染, 消化器外科及び心臓血管外科SSI, 手指消毒薬の払い出し状況, 抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施</li><li>・ サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施 (情報の共有と改善のためのディスカッション, 環境チェック)</li><li>・ 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し, 迅速な感染防止対策を実施</li><li>・ 院内感染対策基本マニュアルの作成および改訂</li><li>・ 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は, 直接的な主治医とのディスカッション</li><li>・ TDM検討会 (全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供)</li><li>・ 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応</li><li>・ 針刺し・切創, 粘膜曝露対策, 職員のワクチン接種などの職業感染対策</li></ul></li></ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>「医薬品の安全管理」 平成29年4月15日：講義 →上記のDVD映像の視聴：4月18日～4月22日、12月13日～12月16日</li><li>「麻薬の取り扱いについて」 平成28年4月5日、5月13日、6月2日、7月14日、8月1日、9月6日、10月6日、11月1日、12月5日、1月5日、2月6日、3月3日：講義（全日、同一の内容）</li></ul></li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>手順書の作成 (有)・無</li><li>業務の主な内容： 平成28年5月：手順書の一部改正；第6に管理方法を追記。その他記載内容一部改正。 平成28年8月：手順書の一部改正；医療法施行規則の改正を踏まえ、第5 1. 処方・調剤 2) 処方鑑査 に関する手順、および第8 2) 医薬品安全性情報管理 に関する手順について記載内容一部追記。</li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無</li><li>その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>採用薬剤適正使用情報 (Vol. 60～Vol. 61) の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用して、メールにて配信を行っている。配信先（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等）は状況に応じて選択可能。</li><li>薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2か月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。 安全の扉： Vol. 22 No. 3 「腸の狭窄・閉塞に注意！非ステロイド性抗炎症薬」平成28年5月 No. 4 「SGLT2阻害薬の適正使用に関するRecommendation」平成28年7月 No. 5 「『処方箋・コメント』の使い道は？」平成28年9月 No. 6 「どうなったエチゾラム・ゾピクロン-法改正を受け-」平成28年11月  Vol. 23 No. 1 「ワーファリン錠とフロリードゲル経口用2%の併用禁忌」平成29年1月 No. 2 「C型肝炎治療薬『ハーボニー？配合薬』に偽造品」平成29年3月</li></ol></li></ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 61回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・人工心肺装置・補助循環装置の回路構成と特徴</li><li>・人工心肺の概要と注意点</li><li>・人工心肺装置と補助循環装置の回路構成とそれぞれの注意点</li><li>・遠心ポンプ、血液ガス測定モニター、回路内圧計の取扱い方法と注意点</li><li>・補助循環装置の回路構成とプライミング方法、その他注意点</li><li>・人工呼吸器の使用法および注意点</li><li>・人工呼吸器の使用法</li><li>・人工呼吸器の基礎(呼吸タイプ、呼吸モード、PEEP、PSなど)および実習体験(操作方法、アラーム対応など)</li><li>・CHDFのプライミングおよび施行について</li><li>・血液浄化装置:回路の仕組みおよびトラブルシューティング</li><li>・透析液・水質基準・水処理装置・各種血液浄化装置の説明</li><li>・遠心型血液成分分離装置の概要と操作手順およびプライミング手順使用説明</li><li>・CARTについて(使用目的、治療方法、適応疾患、有用性)</li><li>・癌性腹水に対するCARTについて</li><li>・新生児急性血液浄化法について(PMX-01Rの概要、臨床効果、プライミング方法)</li><li>・除細動器に関する使用方法・保守点検・不具合が発生した場合の対応、法令上遵守すべき事項</li><li>・除細動器の使用法と注意点</li><li>・閉鎖式保育器の機能と操作方法</li><li>・麻酔器の主な機能と注意点および準備方法</li><li>・麻酔器の準備、機能、注意点について</li><li>・AED(ハートスタートFR-3)の取扱い方法と注意点</li><li>・植込み能動型機器用プログラムの操作方法・トラブルシューティング・遠隔モニタリングの概要</li><li>・遠隔モニタリングにおけるSOP構築への取り組みと臨床的意義、SOPの利用、運用、保守点検</li><li>・自己血回収装置の概要と注意点、同種血輸血と自己血輸血について、術後回収の概要と注意点</li><li>・クリアサイトシステム使用上の注意点</li><li>・OCTシステムのバージョンアップに伴う新機能、操作方法、注意事項</li><li>・冠動脈貫通用カテーテルSASUKEにおける使用方法および注意点</li><li>・ポリグラフRMC-5000Iについての使用・操作方法、注意事項</li><li>・クライオアブレーション概要、クライオコンソールセットアップ、使用物品、術前・術中・術後管理</li><li>・クライオアブレーション製品特徴、使用方法、保守点検、法令上遵守すべき事項</li><li>・アテローム切除型血管形成術用カテーテルATERCUTについて</li><li>・水圧式ナイフ(バーサジェット)の製品概要・準備方法・使用方法</li><li>・ストルツHV内視鏡システムの操作方法、注意点など</li><li>・電気メス、バイポーラの種類、原理、使用方法、注意点</li><li>・超音波メスの組み立て方、使用方法、使用上の注意</li><li>・S-ICDの概要・製品説明・手技・検出アルゴリズム、プログラムハンズオン</li><li>・キューサ、ソノサージキューサ、ソノペットの使用方法、使用上の注意点</li></ul></li></ul>	

- ・エンシール、リガシユア、バイクランプの特長と各部分の名称、使用方法、トラブル時の注意点
- ・内視鏡タワーの使用方法、注意点、不具合時の対応
- ・ロータブレードのシステム概要、使用方法、法的に遵守すべきこと、不具合が発生した場合の対応

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (  有  無 )
  - ・ 保守点検の主な内容 :
    - 医療機器(人工心肺装置、補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、放射線照射装置、麻酔器、眼内内視鏡、歯科ユニット、高気圧酸素、ダヴィンチ)に関し保守点検計画書を策定。実施状況・内容等は院内の他職種により構成される委員会(委員長:医療機器安全管理責任者)にて評価を受ける。
- ※ 保守点検計画書には医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検を実施する予定の時期、間隔、条件等を記載。また、機器台帳にて修理履歴を保管

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (  有  無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
  - ・未承認・適応外使用等の医療機器の使用に関して:  
病院長を委員長とした“臨床倫理検討委員会”にて、検討を行うことになっている。また、実際に使用された場合にも、この委員会に報告することになっている。
  - ・その他の医療機器の安全使用を目的とした方策の実施状況に関して:  
厚生労働省等の行政、PMDA及び日本医療機能評価機構からの通知、並びに各種学会等のホームページや機器メーカーから情報をMEセンターが収集し、該当医療機器に携わる者へ直接通知を行う。また、院内webサーバーにも掲載し院内に情報を周知している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</li><li>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療安全管理部長として院内の医療安全に関する管理部門に所属し統括</li><li>・ 医療の安全管理体制の確保及び推進のための医療安全推進委員会及び重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療事例審議委員会の構成員並びに運営</li></ul></li><li>・ 医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務及び医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務に関し、取り決めを行う各専門部会の構成員となり統括</li></ul>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 3名 ) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況<ul style="list-style-type: none"><li>・ 薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的 (月一回程度) な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報 (禁忌等)、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告</li><li>・ 薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知</li><li>・ 全部署のリスクマネージャーが出席するリスクマネージャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネージャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認</li></ul></li><li>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況<ul style="list-style-type: none"><li>・ 薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用 (以下、「未承認等の医薬品の使用」という。) に該当するか否かの把握</li><li>・ 未承認等の医薬品の使用について審査する委員会承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案</li><li>・ 薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有</li></ul></li><li>・ 担当者の指名の有無 (有) ・ 無)</li><li>・ 担当者の所属・職種： (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ) (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</li></ul>	



④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (○有・無)</li> <li>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療法施行規則等の改正に伴い、患者が内容を十分理解できるような文書を用いた医療者からの説明が行われているか、また、患者の明確な文書による意思表示は行われているかについて、インフォームド・コンセントの定期的な監査を実施している。</li> <li>・ インフォームド・コンセントに関する基本方針、インフォームド・コンセントの実際（説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項）、インフォームド・コンセントの取得フローチャート、インフォームド・コンセントを必要とする医療行為</li> </ul> </li> </ul>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療録監査委員会内規に基づき、定期的な診療録監査の実施及び診療科へのフィードバック</li> </ul> </li> </ul>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専従（3）名、専任（3）名、兼任（24）名 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（11）名</li> <li>うち薬剤師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（1）名</li> <li>うち看護師：専従（2）名、専任（1）名、兼任（3）名</li> </ul> </li> </ul> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専従の医師・看護師、専任の薬剤師は医療安全推進委員会の構成員</li> <li>・ 医療安全推進委員会に係る資料作成等の運営事務</li> <li>・ 管理者が認める事象（通常の経過では必要がない処置または治療が必要になった事例は、国立大学附属病院で定めたインシデント影響度分類でレベル3b以上相当の事例）発生時の診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への必要な指導</li> <li>・ 医療に係る安全管理に係る連絡調整</li> <li>・ 医療に係る安全の確保のための対策の推進</li> <li>・ 医療に係る安全の確保に資する診療の情報の把握及び職員の医療に関する意識の向上の状況確認</li> <li>・ 歯科診療に関する医療安全に係る事象が発生した場合には、歯科医師が適切に関与できる体制</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 活動の主な内容：
  - (1) 高難度新規医療技術の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
  - (2) 高難度新規医療技術の実施の適否の決定に関すること。
  - (3) 高難度新規医療技術の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - (4) 高難度新規医療技術の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その新規医療技術等の手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - (5) その他高難度新規医療技術の実施の安全性の確保に必要な事項
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (  有 ・ 無 )

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 活動の主な内容：
  - (1) 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
  - (2) 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の適否の決定に関すること。
  - (3) 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - (4) 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
  - (5) その他未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の安全性の確保に必要な事項

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  有 ・  無 )

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  有 ・  無 )

⑨ 監査委員会の設置状況  有 ・  無

・ 監査委員会の開催状況：年 2 回（平成 29 年度の開催状況）

・ 活動の主な内容：

医療安全管理責任者の業務、医療安全管理部門の業務、医療安全管理委員会の業務、医薬品安全管理責任者の業務、医療機器安全管理責任者の業務、及びその他医療安全管理全般に関する業務についての監査を実施。

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( 有   無 )（平成 29 年 11 月公表予定）

・ 委員名簿の公表の有無 (  有 ・  無 )

・ 委員の選定理由の公表の有無 (  有 ・  無 )

・ 公表の方法：

新潟大学医歯学総合病院ホームページ内に公表。

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
上村朝輝	元 済生会新潟 第二病院長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> 無	1
月岡 恵	元新潟市保健 所長		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> 無	1
三部正歳	りゅーと法律 税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有 <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> 無	1
田代文俊	新潟大学（監 事）		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・無	2
牛木辰男	新潟大学（医歯 学系長）		その他学識経験を有する者	有・無	1
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 255 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 92 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - ・院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について、医療安全管理部でリストアップを行い、事例件数の報告及び事例検証を実施
  - ・院内の入院患者における全死亡・死産症例について、主治医・担当医に報告することを義務化し、報告実施状況の確認及びその結果について報告
  - ・重大な事例が生じた場合、速やかに原因究明のための調査及び分析、分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知、方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名： ））無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名： ））無
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
  - ・患者からの医療安全管理に係る相談等に対し、対応できるよう窓口を常設している。また、院内掲示により設置場所、担当者、責任者及び対応時間等を患者等に明示している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
  - ・平成 28 年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、今回の法令改定を踏まえた特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、e-ラーニングを用いて学習効果を測定した。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

- ・ 管理者、医療安全管理責任者及び医薬品安全管理責任者は責任者として当該業務を適切に行うため、知識及び技術習得を目的に院外研修会に参加・受講している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・公益財団法人日本医療機能評価機構：平成27年4月更新認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。 ・広報誌「和」を発行している(年2回程度)。 ・診療案内冊子を毎年作成(更新)し、県内全医療機関へ送付している。また、診療担当医一覧を四半期ごとに作成し、県内全医療機関に送付している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「がんセンター」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。 ・「医療連携口腔管理チーム」によって、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。	

(様式第8)

29 新大医歯病第 192 号  
平成 29 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 (管理者) 鈴木 榮一 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修 (医療に係る安全管理のための研修, 管理者, 医療安全管理責任者, 医薬品安全管理責任者, 医療機器安全管理責任者向け) を実施するための予定措置

研修の内容について発出される通知に基づき, 研修を受けることとしている。

また, 医療機器安全管理責任者は, 責任者として当該業務を適切に行うための院外研修会に来年度から参加・受講予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員: 専従 (4) 名, 専任 (1) 名, 兼任 (24) 名

うち医師: 専従 (1) 名, 専任 ( ) 名, 兼任 (14) 名※歯科医師 (兼任) 3 名含む

うち薬剤師: 専従 (1) 名, 専任 ( ) 名, 兼任 (1) 名

うち看護師: 専従 (2) 名, 専任 (1) 名, 兼任 (3) 名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医師, 看護師の専従職員は配置済みである。薬剤師については, 平成 30 年 4 月には専従薬剤師を配置する。